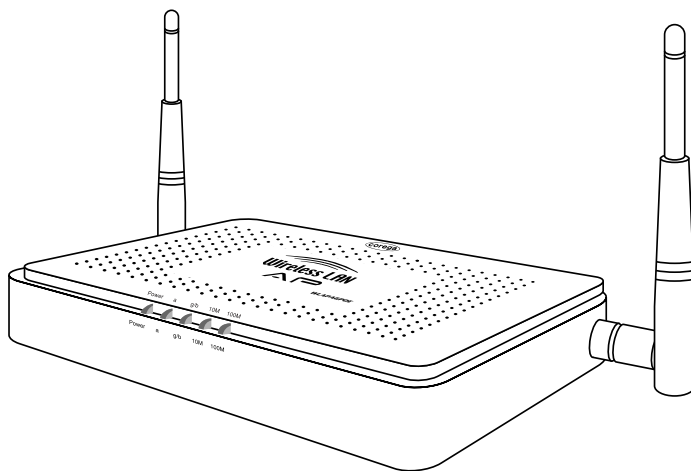




CG-WLAPAGPOE

取扱説明書



5GHz帯を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。IEEE802.11aは屋外で使用する
ことはできませんのでご注意ください。

安全にお使いいただくためにお読みください

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入いただいた商品を安全に正しくお使いいただくための注意事項が記載されています。使用されている警告表示および絵記号の意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ本文をお読みください。

警告表示の説明



警告

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の説明



この記号は警告・注意を喚起するための記号です。記号の中または近くに具体的な警告・注意事項が示されています。



例) 「発火注意」



この記号は禁止行為を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な禁止事項が示されています。



例) 「分解禁止」



この記号は必ず行っていただきたい指示内容を示すための記号です。記号の中または近くに具体的な指示内容が示されています。



例) 「電源プラグをコンセントから抜く」



警告



家庭用電源（AC100V）以外では絶対に使用しないでください。

禁止

異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。



必ず付属の専用ACアダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。

強制指示

本商品付属以外のACアダプタ（または電源ケーブル）の使用は火災、感電、故障の原因となります。



電源ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。

禁止

電源ケーブルに重いものをのせたり、加熱や無理な曲げ、ねじり、引っ張ったりすると電源ケーブルを破損し火災、感電の原因となります。また、電源ケーブル（またはACアダプタ）をコンセントから抜くときにケーブル部を持って抜かないでください。



本商品（ACアダプタ含む）は風通しの悪い場所に設置しないでください。

禁止

過熱し、火災や破損の原因となることがあります。



本商品（ACアダプタ含む）を分解や改造はしないでください。

分解禁止

感電、火災、けが、故障の原因となります。



本商品の通風孔などから液体や異物が内部に入ったら、ACコンセントからプラグを抜いてください。

プラグ抜く

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



煙が出たり、へんな臭いがしたら使用を中止し、ACコンセントからプラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、火災、感電の原因となります。



濡れた手で本商品を扱わないでください。

感電禁止

電源が接続された状態で、本商品の操作や接続作業を行うと感電の原因となります。



本商品は一般事務、家庭での使用を目的とした商品です。

禁止

本商品は、住宅設備・医療機器・原子力設備や機器・航空宇宙機器・輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器および極めて高い信頼性を要求される設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んだ使用は意図されておりません。これらの設備や機器、制御システムなどに本商品は使用しないでください。本商品の故障により社会的な損害や二次的な被害が発生するおそれがあります。



注意



本商品を多段階みて使用したり、通風孔をふさいだりしないでください。

禁止

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。



本商品の前後左右、および上部には十分なスペースを確保してください。

強制指示

換気が悪くなると内部温度が上昇し火災や故障の原因となります。また、商品に使用しているアルミ電解コンデンサは、高い温度状態で使用し続けると早期に寿命が尽きる場合があります。寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液の漏れや枯渇が生じ、臭異の発生や発煙、火災の原因となることがあります。



本商品を次のような場所で使用や保管はしないでください。

禁止

- ・ 直射日光のあたる場所
- ・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・ 急激な温度変化のある場所（結露するような場所）
- ・ 湿気の多い場所や水などの液体がかかる場所
- ・ 振動の激しい場所
- ・ ほこりの多い場所や、じゅうたん等の保温性、保湿性の高い場所
- ・ 腐食性ガスの発生する場所
- ・ 台所、浴室、洗面所などの水気や湿気が多い場所
- ・ ユニットバスや天井裏など高温・多湿で風通しの悪い場所
- ・ 壁の中などお手入れが不可能な場所
- ・ 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所



事故防止のため、お手入れ可能な場所に設置してください。

強制指示

本商品（ACアダプタ含む）にほこりなどが付着していると発煙や火災の原因となる場合があります。ほこりなどが付着している場合は、電源を切った状態にしてから乾いた布でよく拭き取ってください。



雷のときは本商品や接続されているケーブル類に触らないでください。

禁止

落雷による感電の原因となります。



本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。

禁止

故障の原因となることがあります。

無線商品をご利用の際のご注意

■電波に関するご注意

本商品を下記のような状況でご使用になることはおやめください。また、設置の前に必ず「安全にお使いいただくためにお読みください」をお読みください。

- ・ 心臓ペースメーカーの近くで本商品をご使用にならないでください。心臓ペースメーカーに電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・ 医療機器の近くで本商品をご使用にならないでください。医療機器に電磁妨害を及ぼし、生命の危険があります。
- ・ 電子レンジの近くで本商品をご使用にならないでください。電子レンジによって、本商品の無線通信への電磁妨害が発生します。

この機器の商品仕様に記載されている使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、電波の発射を停止した上、本書に記載されている連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置（例：パーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社サポートセンタへお問い合わせください。

■セキュリティに関するご注意

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲内であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲であれば障害物（壁等）を超えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報
- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピュータウイルスなどを流し、データやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 商品のセキュリティに関する設定を行って商品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、商品を使用することをおすすめします。

はじめに



このたびは、「CG-WLAPAGPOE」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本商品を正しくご利用いただくための手引きです。必要なときにいつでもご覧いただけるように、大切に保管してください。また、本商品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<http://corega.jp/>


本書の読み方

●記号について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

	操作中に気をつけていただきたい内容です。必ずお読みください。		補足事項や参考となる情報を説明しています。
---	--------------------------------	---	-----------------------

●表記について

本商品	CG-WLAPAGPOE のことです。
「 」－「 」－「 」	「 」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[]	[] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：  → [OK]
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版および Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版 のことです。
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版のことです。
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版のことです。
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system 日本語版のことです。

※本書では、複数のOSを「Windows XP/2000」のように併記する場合があります。

●イラスト／画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

導入ガイド

本書は本商品に関する情報や使用について説明しており、取付方法や設置方法、操作方法などを提供しています。本書の構成は次のとおりです。

■PART1…本商品について

本商品の概要や特徴、同梱品の一覧、各部の名称と機能などを説明しています。

■PART2…簡単接続を使って本商品を設定する

本商品の設定について説明しています。このPARTでご紹介しているのは、本商品の設定ユーティリティの機能のひとつ、「簡単設定」を使った設定方法です。

■PART3…設定ユーティリティについて

本商品の設定ユーティリティを使った、詳細な設定方法を説明しています。

■PART4…トラブルや疑問があったら

トラブルシューティングが記載されています。「接続できない」などの疑問がありましたら、このPARTをご覧ください。

■PART5…付録

別売のPoEアダプタの使用方法や、本商品の仕様などが記載されています。また、保証や修理、弊社サポートセンタへの連絡先なども記載されています。

目 次

安全にお使いいただくためにお読みください	2
無線商品をご利用の際のご注意	3
はじめに	5
本書の読み方	5
導入ガイド	6
PART1 本商品について	9
商品概要	9
本商品の特徴	10
同梱品一覧	10
各部の名称と機能	11
本商品の設置	13
■アンテナの取付方法	13
■壁掛キットの使用法	14
■マグネットの使用法	15
本商品の電源について	15
■本商品の電源の取りかた	15
■本商品の電源の入れかた	15
■本商品の電源の切りかた	16
PART2 簡単接続を使って本商品を設定する	17
設定の前に	17
■設定用パソコンの構成	17
■設定用パソコンのTCP/IPの設定を確認する	17
設定用パソコンのTCP/IPを設定する	18
■Windows XP/2000の場合	18
■Windows Me/98SEの場合	20
設定用パソコンと本商品を接続する	21
■有線で接続する場合	21
■無線で接続する場合	22
本商品を設定する	23
■設定ユーティリティを起動する	23
■「簡単設定」で設定する	24
簡単設定が終了したら	28
■本商品の通信モード一覧	30

PART3 設定ユーティリティについて	33
設定ユーティリティを起動する	33
■設定方法	33
■設定ユーティリティを終了するには	33
Web ブラウザでの設定項目について	34
■AP情報	34
■簡単設定	35
■詳細設定	36
■統計	54
■再起動	56
PART4 トラブルや疑問があったら	57
解決のステップ	57
取扱説明書などを再確認する／管理者に確認する	58
Q&A	58
■本商品の設定ユーティリティが表示されない	58
■無線LANアダプタを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない ...	60
■本商品のパスワードを忘れた	61
■ファームウェアの更新に失敗した	61
■パソコンのネットワーク設定を調べたい	61
■本商品のパスワードを変更したい	63
■最新のファームウェアを入手して更新したい	64
■本商品を再起動したい	65
■本商品を工場出荷時の状態に戻したい	67
■「無線設定」で指定したIEEE802.11aのチャンネルが表示されない／チャンネルが変更された	68
コレガのホームページの情報を活用する	68
それでも解決しなければ、サポート窓口にお問い合わせみる	68
PART5 付録	69
PoE アダプタを使って接続する	69
■PoEアダプタについて	69
■PoEアダプタとの接続例	69
仕様一覧	70
壁掛キット取り付け用ネジ穴ガイド	71
工場出荷時の設定	72
保証と修理について	72
おことわり	73
商品に関するご質問は・・・	74

PART 1

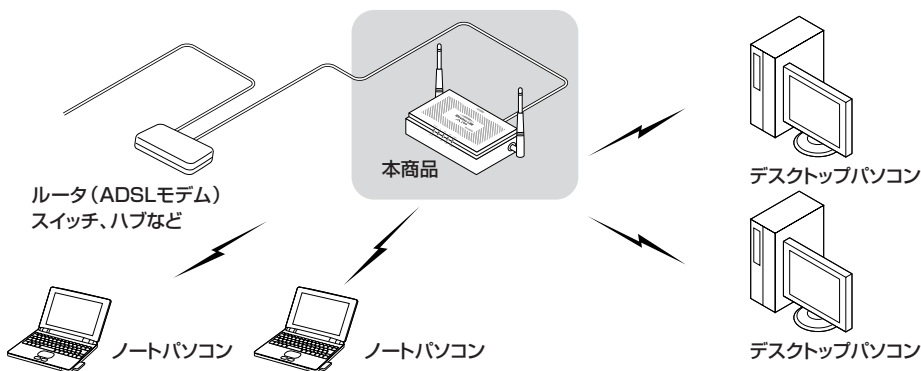
本商品について

商品概要

本商品は IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11b といった、全ての無線 LAN 規格に対応したワイヤレス（無線 LAN）通信のアクセスポイントです。無線 LAN アダプタと組み合わせることで、無線 LAN ネットワークを構築することができます。また、本商品は LAN ポート（RJ-45）を搭載しておりますので、無線 LAN と有線 LAN が混在するネットワークを構築することもできます。



- ・無線 LAN の通信モードには、「インフラストラクチャモード (Infrastructure mode)」と「アドホックモード (Ad-Hoc mode)」の 2 種類がありますが、次の図のように本商品と組み合わせてネットワークを構築する場合には、「インフラストラクチャモード」でネットワークを構築します。
- ・本商品はアドホックモードでのネットワーク構築にはお使いいただけません。



本商品の特徴

本商品には、次のような特徴があります。

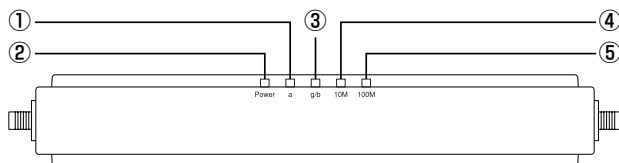
- ・ IEEE802.11a、g、b の全ての無線 LAN 規格に準拠。
- ・ 設定ユーティリティによる簡単設定。
- ・ アクセスポイント同士の通信（WDS）に対応し、柔軟なネットワーク設計が可能。
- ・ WEP（64/128/152bit）、IEEE802.1X、WPA、WPA2 といった、無線通信時の高度なセキュリティに対応。
- ・ 「SuperA/G」機能を搭載し、「Super G」および「Super A/G」対応機器との無線通信時に、通信速度をさらに向上することが可能。
- ・ 有線 LAN ポートは、100BASE-TX／10BASE-T のオートネゴシエーション、Full Duplex／Half Duplex のオートネゴシエーションに対応。
- ・ 付属のマグネットおよび壁掛キットを使用することにより、スチール家具や壁面へ設置することが可能。
- ・ 別売の PoE アダプタ（CG-POEADP2）に対応し、コンセントから離れた場所にも設置することが可能。
- ・ 別売のオプションアンテナ（CG-WLANT011）を接続することが可能。

同梱品一覧

本商品をご使用になる前に、次のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

- ☐ CG-WLAPAGPOE 本体
- ☐ アンテナ（5.2GHz 用 × 1、2.4GHz 用 × 1）
- ☐ AC アダプタ
- ☐ 電源ケーブル（1.8m／3 極）
- ☐ LAN ケーブル（2.0m）
- ☐ マグネット × 2
- ☐ 壁掛キット（アンカ × 2、ネジ × 2）
- ☐ 取扱説明書（本書）
- ☐ 電波干渉注意ラベル
- ☐ 製品保証書

■前面



① a LED（緑）

IEEE802.11a で無線通信されている場合の状態を表します。

点滅（遅）：無線通信の待機中です。

点滅（速）：無線機器と通信中です。

消灯：無線の電波が停止している状態です。

② Power LED（緑）

本商品の電源の状態を表します。

点灯：本商品の電源がオンの状態です。

点滅：電源投入直後の状態です。

消灯：本商品の電源がオフの状態です。

③ g/b LED（緑）

IEEE802.11g および IEEE802.11b で無線通信されている場合の状態を表します。

点滅（遅）：無線通信の待機中です。

点滅（速）：無線機器と通信中です。

消灯：無線の電波が停止している状態です。

④ 10M LED（緑）

本体背面の LAN ポートの状態が表示されます。通信機器と 10Mbps で接続されている場合に点灯します。

点灯：接続先の機器と 10Mbps でリンクが確立されています。

点滅：接続先の機器と通信中です。

消灯：接続先の機器と 10Mbps でリンクが確立されていない状態です。

⑤ 100M LED（緑）

本体背面の LAN ポートの状態が表示されます。通信機器と 100Mbps で接続されている場合に点灯します。

点灯：接続先の機器と 100Mbps でリンクが確立されています。

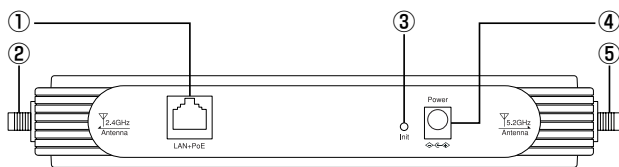
点滅：接続先の機器と通信中です。

消灯：接続先の機器と 100Mbps でリンクが確立されていない状態です。



10M LED と 100M LED の両方が消灯している場合は、接続先の機器とリンクができない状態です。この場合は、接続先の機器との接続をご確認ください。

■背面



① LAN+PoE ポート

ADSLモデムやルータ、ハブなどを接続するためのポートです。Auto MDI/MDI-X機能を搭載していますのでケーブルの属性を選びません。また、100Mbps / 10Mbpsの切り替えは、オートネゴシエーション機能によって自動的に行われます。また、別売のPoEアダプタを利用すれば、このポートから電源を供給してお使いいただけます。

② SMA コネクタ (2.4GHz アンテナ専用)

2.4GHz用アンテナを取り付けるためのコネクタです。別売のオプションアンテナを接続することもできます。

③ Init スイッチ

本商品の設定内容を工場出荷時の状態に戻す場合に使用します。操作方法については、「本商品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.67)をご覧ください。Initスイッチを使用して工場出荷時の状態に戻すと設定内容が失われますので、操作方法をよくお読みになって使用してください。

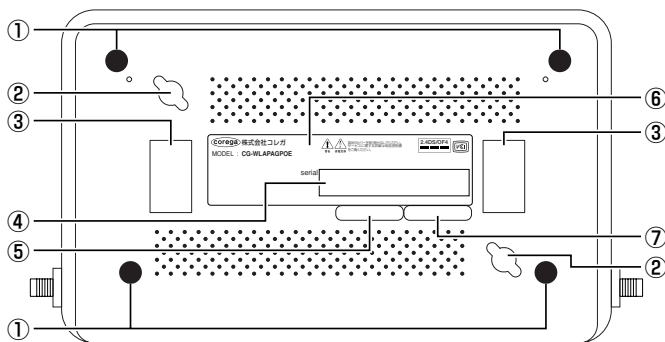
④ DC ジャック

付属の専用ACアダプタのDCプラグを接続するためのコネクタです。

⑤ SMA コネクタ (5.2GHz アンテナ専用)

5.2GHz用アンテナを取り付けるためのコネクタです。別売のオプションアンテナを接続することもできます。

■底面



① ゴム足

すべり止めのゴム足です。4箇所に取り付けられています。

②壁掛キット取付位置

付属の壁掛キットを取り付けることができます。2箇所あります。

③マグネット取付位置

付属のマグネットを取り付けることができます。2箇所あります。

④シリアル番号ラベル

本商品のシリアル番号とリビジョンが記載されています。シリアル番号とリビジョンは、弊社サポートセンタへの問い合わせの際に必要になります。

⑤MACアドレスラベル

本商品のMACアドレスが記載されています。

⑥製品ラベル

本商品の製品名が記載されております。

⑦ファームウェアラベル

本商品のファームウェアのバージョンが記載されています。



「底面」の図に記載されている **2.4GHz/OFDM** は、次の内容を意味しています。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
伝送方式	DS-SS 方式 / OFDM 方式
想定干渉距離	40m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、 「アマチュア局」帯域を回避可能

本商品の設置

設置の際には本書冒頭の「安全にお使いいただくためにお読みください」をご覧ください、使用時の注意についてご確認ください。また、次の点にも注意してください。

- ・ 本商品が水平になるように設置してください。
- ・ 電波を妨げない場所に設置してください。
- ・ マグネットおよび壁掛キットをご使用になる場合、本商品が落下しないように確実に設置してください。

■アンテナの取付方法

アンテナを取り付けるには、次の手順で行ってください。



本商品のアンテナは、必ず対応する周波数のコネクタに取り付けてください。コネクタを間違えると、本商品の本来の性能が発揮できなくなります。

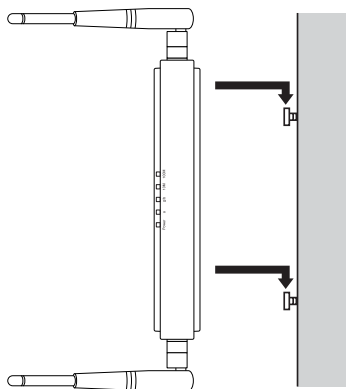
- 1 本商品のSMAコネクタに、アンテナが右方向に回転しなくなるまで回して取り付けます。

- 2 切り込みがある方向にアンテナを折ることができます。必要に応じてアンテナを折ってお使いください。

■壁掛キットの使用法

本商品は、付属の壁掛キットを使用して壁面に設置することもできます。壁掛キットを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 取り付けたい壁などに対し、付属のネジをネジ頭が約3mmほど残るようにして取り付けます。このときネジとネジの間隔は約137mm、角度は約45度になるように取り付けてください。取り付けの際は、本書の「付録」に記載されている「ネジ取り付けガイド」をコピーして、切り取ってお使いください。
- 2 取り付けたネジのネジ頭を、本商品底面にある「壁掛キット取付位置」の穴に引っかけて固定します。

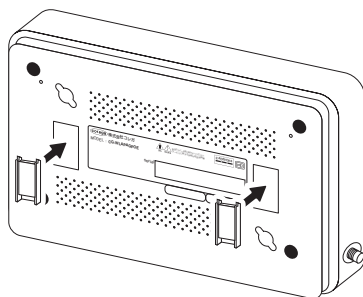


石膏ボード、ベニヤなど中空になっている壁で、ネジが取り付けづらい場合は、付属の壁掛用アンカ（2本）を併用します。ネジを取り付ける位置に、きりやドリルなどで穴を開けておき、壁掛用アンカをかなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。穴は壁掛用アンカがぴったり入る大きさにしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。

■マグネットの使用方法

壁面が金属の場合、本商品は付属のマグネットを使用して設置することもできます。マグネットを使用するには、次の手順で行ってください。

- 1 マグネット取付位置の前側にあるツメとマグネットのツメの方向を合わせます。
- 2 マグネットをツメの反対側から本体に挿し込み、強く押しつけます。



以上で取り付けは終了です。

■本商品の電源について

本商品の電源を入れる前に、必ず本書の本書冒頭の「安全にお使いいただくためにお読みください」をご覧ください、使用時の注意についてご確認ください。

■本商品の電源の取りかた

本商品の電源は、たこ足配線などを避け、他の機器と別系統で取るようにしてください。必ず付属の専用ACアダプタを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。専用品以外のACアダプタや、規格外のコンセントを使用すると、発熱による発火や、感電の恐れがあります。また、本商品は別売のPoEアダプタにも対応しております。PoEアダプタの詳細については、「PART5 付録」の「PoE アダプタを使って接続する」(P.69)をご覧ください。

■本商品の電源の入れかた

電源を入れるには、次の手順で行ってください。

- 1 ACアダプタのDCプラグを、本商品背面のDCジャックに接続します。

2 電源ケーブルの電源コネクタを、ACアダプタの電源コネクタに接続します。

3 電源ケーブルの電源プラグを電源コンセントに接続します。

電源が入ると、本体前面のPower LEDが点滅します。Power LEDは初期動作終了後、点灯します。



- ・本商品には電源スイッチがありません。ACプラグを電源コンセントに接続した時点で、電源が入りますのでご注意ください。
- ・ACケーブルのACプラグを電源コンセントに差し込んだままDCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

■本商品の電源の切りかた

電源を切る場合は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

PART 2

簡単接続を使って 本商品を設定する

設定の前に

本商品の設定を行うには、1台のパソコンを、本商品の設定用パソコンとして準備してください。



設定用パソコンは、必要に応じてネットワークの設定を変更する場合があります。設定用パソコンを元のネットワークで再び使う場合は、本商品の設定を行う前に、必ずTCP/IPの設定や無線LANアダプタの設定の控えをとってください。

■設定用パソコンの構成

本商品の設定を行うためには、次の条件を満たすパソコンが必要です。

- ・ 有線で設定する場合は、100BASE-TXもしくは10BASE-T規格の有線のLANポートが装備されていること。
- ・ 無線で設定する場合は、IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bのいずれかに準拠した無線LANアダプタが装備されていること。
- ・ OSがWindows XP／2000／Me／98SEのいずれかであること。
- ・ TCP/IPが組み込まれていること。
- ・ Microsoft Internet Explorer 5.5以降インストールされていること。



有線および無線LANアダプタの取り付け方法や設定方法についての詳細は、有線および無線LANアダプタに付属の取扱説明書をご覧ください。

■設定用パソコンのTCP/IPの設定を確認する

本商品の設定を行う場合は、設定用パソコンのTCP/IP設定が次のように設定されている必要があります。

- ・ **IPアドレス**：「192.168.1.230」を除いた、「192.168.1.1～192.168.1.254」の範囲のIPアドレス
- ・ **サブネットマスク**：「255.255.255.0」

本書では、設定用パソコンのIPアドレスを次の値に設定したものとして説明しています。

- ・IPアドレス：「192.168.1.3」
- ・サブネットマスク：「255.255.255.0」



- ・すでに「192.168.1.XXX」以外のネットワークが構築されている場合、本商品の設定を行うためには、本商品と設定用パソコンで「192.168.1.XXX」のIPアドレスを持つ最小限のネットワークを構築する必要があります。設定用パソコンのIPアドレスを上記のように変更してください。なお、本商品の設定を行わないパソコンについては、IPアドレスを変更する必要はありません（本商品のIPアドレスと既存のネットワークとが異なっている場合でも、無線LANへの接続は可能です）。
- ・本商品の工場出荷時のIPアドレスは、「192.168.1.230」です。これと同じIPアドレスを持つ機器が存在する場合は、本商品の設定が完了するまで該当する機器の電源を切っておくか、ネットワークから切り離しておいてください。



- ・パソコンのIPアドレスの調べ方がわからない場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」の「パソコンのネットワーク設定を調べたい」（P.61）をご覧ください。
- ・TCP/IPの組み込み方法や設定方法についての詳細は、無線LANアダプタに付属の取扱説明書、または各OSの説明書をご覧ください。

設定用パソコンのTCP/IPを設定する

■Windows XP/2000の場合



Windows XP/2000では、「コンピュータの管理者」や「Administrator」、または同等の権限を持つユーザ名で設定用パソコンにログインしてください。ユーザ権限については、OSの取扱説明書をご覧ください。

- 1 「スタート」－「コントロールパネル」をクリックします。（Windows 2000の場合は、「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。）
- 2 「コントロールパネル」－「ネットワークとインターネット接続」－「ネットワーク接続」をクリックします（Windows 2000の場合は、「コントロールパネル」の「ネットワーク接続」をダブルクリックします）。



Windows XPで「ネットワークとインターネット接続」が表示されていない場合は、画面左側の「カテゴリの表示に切り替える」をクリックしてください。

- 3 「ローカル エリア接続」を右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。

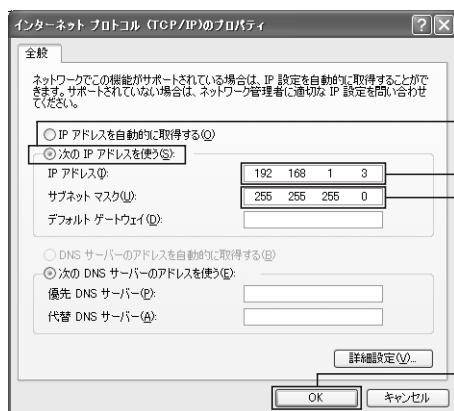
- 4 「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。



①「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を選択します。

② [プロパティ] をクリックします。

- 5 「次のIPアドレスを使う」を選択し、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして [OK] をクリックします。



①「次のIPアドレスを使う」を選択します。

②「192.168.1.3」と入力します。

③「255.255.255.0」と入力します。

④ [OK] をクリックします。

- 6 「ローカル エリア接続のプロパティ」画面の [OK] をクリックします。

- 7 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動します。メッセージが表示されなかった場合も手動で再起動してください。

設定用パソコンの TCP/IP の設定はこれで完了です。次に「設定用パソコンと本商品を接続する」(P.21) にお進みください。

■Windows Me/98SEの場合

ここでは例として Windows Me を使用しています。Windows 98SE をご使用の場合も手順は同様です。

- 1 「スタート」－「設定」－「コントロールパネル」をクリックします。
- 2 「コントロールパネル」の「ネットワーク」をダブルクリックします。



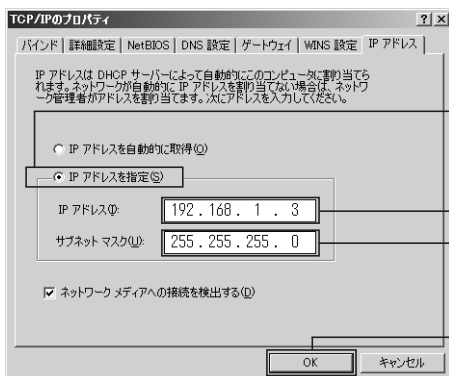
Windows Meで「ネットワーク」が表示されない場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する」をクリックしてください。

- 3 「TCP/IP → ××××××」(××××××には、ご使用のネットワークアダプタ名が表示されます)を選択し、[プロパティ]をクリックします。



- ① TCP/IPをクリックします。
※認識されているネットワークアダプタが1台しかない場合は、ネットワークアダプタ名が表示されない場合もあります。
- ② [プロパティ]をクリックします。

- 4 「IPアドレス」タブをクリックし、次のようにIPアドレスとサブネットマスクの設定をして [OK] をクリックします。



- ① 「IPアドレスを指定」を選択します。
- ② 「192.168.1.3」と入力します。
- ③ 「255.255.255.0」と入力します。
- ④ [OK]をクリックします。

- 5 「ネットワーク」画面の[OK]をクリックします。



WindowsのOS用ディスクを入れてください、という旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示にしたがって操作してください。

- 6 再起動を促すメッセージが表示されたら再起動します。メッセージが表示されなかった場合も手動で再起動してください。

2

設定用パソコンのTCP/IPの設定はこれで完了です。次に「設定用パソコンと本商品を接続する」(P.21)にお進みください。

設定用パソコンと本商品を接続する

本商品の設定をするため、設定用パソコンと本商品を接続します。接続には、有線と無線の両方で接続することが可能です。

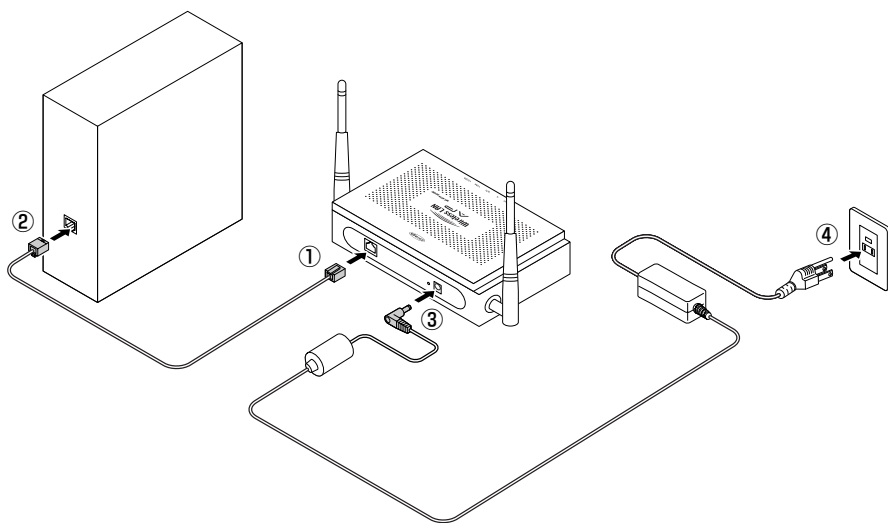
■有線で接続する場合

本商品に有線で接続するには、次の手順で行ってください。



本商品の設定時には、設定用パソコンと本商品のみを接続して設定してください。

- 1 本商品と設定用パソコンの電源が切れていることを確認します。
- 2 本商品背面のLAN ポートに付属のLAN ケーブルを接続します (①)。



- 3 設定用パソコンのLANポートに、LANケーブルのもう一方を接続します (②)。
- 4 本商品背面のDCジャックにACアダプタのDCプラグを接続します (③)。
- 5 ACアダプタのもう一方をコンセントに接続します。本商品の電源が入り、本商品前面のPower LEDが点滅します。Power LEDは初期動作終了後、点灯します (④)。電源を入れる方法については「PART1 本商品について」の「本商品の電源の入れかた」(P.15)をご覧ください。
- 6 設定用パソコンの電源を入れます。

設定用パソコンが起動したら、「本商品を設定する」(P.23)にお進みください。

■無線で接続する場合

本商品に無線で接続される場合は、本商品の電源を入れた後に、設定用パソコンの無線LANアダプタの設定を次のように変更してください。



設定方法はお使いのOSのバージョンや、無線LANアダプタによって異なります。詳しくはお使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧ください。

項目名	設定値	説明
通信モード	インフラストラクチャ	本商品に接続する場合は、「インフラストラクチャ (Infrastructure)」モードに設定します。
ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。「SSID」と呼ばれることもあります。
WEP (暗号化)	OFF	通信データを暗号化するための暗号キーです。
WPAおよびWPA2 (暗号化)	OFF	通信データを暗号化するための暗号キーです。一定時間ごとに自動的に変更されるのでWEPよりもさらに安全性が高くなります。

設定用パソコンの無線LANアダプタの設定が変更できたら、「本商品を設定する」(P.23)にお進みください。

本商品を設定する

本商品と設定用パソコンを接続した後は、このページから始まる「設定ユーティリティを起動する」の手順で設定ユーティリティを起動してください。正しく接続できている場合は、設定ユーティリティが表示されます。また、本商品の設定は Web ブラウザで行いますが、Web ブラウザは、必ず Internet Explorer 5.5 以降をご利用ください（これ以外の Web ブラウザでは、設定が正常に行えない可能性があります）。



- ・設定用パソコンでウイルス駆除ソフト、ファイアウォールソフトなどのセキュリティソフトが稼働していると、本商品の設定に失敗することがあります。一時的にセキュリティソフトを停止させて本商品の設定を行い、設定作業が終了してから再度稼働させてください。セキュリティソフトの停止、稼働の方法は、セキュリティソフトの取扱説明書をご覧ください。
- ・Web ブラウザでの設定時には、設定ユーティリティのページを素早く切り替えないでください。素早いクリックによるページの切り替えは、誤動作の原因となります。十分な時間間隔を置いてマウスをクリックし、設定操作を行ってください。万が一、本商品にアクセスできなくなった場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」の「本商品の設定ユーティリティが表示されない」(P.58) をご覧ください。

■設定ユーティリティを起動する

- 1 本商品に接続したパソコンで、Internet Explorer を起動します。
- 2 アドレス入力欄に「192.168.1.230」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。

「192.168.1.230」と入力します。

- 3 パスワードの入力画面が表示されます。「ユーザー名」の欄に「root」と入力し、[OK] をクリックします。

①「root」と入力します。

② [OK] をクリックします。

4 設定ユーティリティが起動します。



Web ブラウザに「オフライン」や「プロキシサーバ」などの設定を行っている場合、本商品の設定ユーティリティが表示されないことがあります。その場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」の「本商品の設定ユーティリティが表示されない」(P.58) をご覧ください。

●うまく接続できない場合は

ここまでの設定でうまく接続ができない場合は、次の点をご確認ください。

- ・ TCP/IP は正しく設定されていますか？
- ・ 無線で接続している場合、ESSID や通信モードは正しく設定されていますか？
- ・ 無線で接続している場合、本商品と設定用パソコンは、通信可能な距離に設置されていますか？

接続できない場合は、本書の「PART4 トラブルや疑問があったら」(P.57) や、お使いの無線 LAN アダプタの取扱説明書もあわせてご覧ください。

■「簡単設定」で設定する

設定ユーティリティが表示された場合は、設定用パソコンと本商品が無線で正しく接続できています。このまま本商品の設定を変更しなくてもお使いいただけますが、無線 LAN での安全なネットワーク構築のためにもセキュリティの設定をしてからお使いください。ここでは「簡単設定」を使った、ESSID の変更と WEP の設定についてご紹介します。



本商品は ESSID、WEP 以外のセキュリティもお使いいただけます。設定方法については、「PART3 設定ユーティリティについて」の「セキュリティ設定」(P.40) をご覧ください。

●ESSID (Extended Service Set Identifier) とは

無線 LAN に接続する機器を識別する名前です。SSID と呼ばれることもあります。同じ ESSID を持つ無線 LAN 機器同士でしか通信できないため、第三者から想像されにくい ESSID を設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。また、ESSID を設定していないと無線 LAN でネットワーク接続することができません。本商品の工場出荷時は「corega」に設定されています。

●セキュリティを設定する

「簡単設定」を使ってセキュリティを設定します。新たに設定した ESSID は、無線 LAN に接続するすべてのパソコン（無線 LAN アダプタ）にも設定する必要がありますので、設定した内容を忘れないように、新しい ESSID を正確にメモしておくことをおすすめします。

- ・ ESSID は、最大 32 文字までの、半角英数文字および半角記号の組み合わせで作成します。
- ・ 使用できる半角記号は、次のとおりです。

!"#\$%&'()*+,-./:;<=>?@[\\]^_`{|}~

- 1 「設定ユーティリティを起動する」(P.23) の手順で設定ユーティリティを起動し、メニューバーの「簡単設定」をクリックします。



「簡単設定」をクリックします。

- 2 IEEE802.11a用の ESSID とチャンネルを設定します。「ESSID」の入力欄に新しい ESSID を入力し、チャンネルの設定をして「進む」をクリックします。ここでは例として、新しい ESSID を「corega-new」に設定します。



① 新しい ESSID を入力します。

② チャンネルの設定をします。

③ 「進む」をクリックします。



各画面の「戻る」をクリックすると、前の画面に戻ります。



本商品の ESSID を変更すると、設定に使用したパソコンを含めて、一時的に、無線接続しているすべてのパソコンからネットワークへの接続ができなくなります。ネットワークに接続するためには、無線接続しているすべてのパソコン（無線 LAN アダプタ）に同じ ESSID を設定してください。

- 3 IEEE802.11a用のWEPの設定を行います。WEPの「有効」をクリックしてから「64bit」、「128bit」、「152bit」の中から選択し、「キー1」の入力欄に直接入力します。キー1には暗号強度に合わせた桁の値を入力してください。

- ・ 64bit：16 進数で（0～9、a～f）10 桁の暗号キーを利用可能
- ・ 128bit：16 進数で（0～9、a～f）26 桁の暗号キーを利用可能
- ・ 152bit：16 進数で（0～9、a～f）32 桁の暗号キーを利用可能



WEP キーは、通信内容（データ）を保護するための暗号です。WEP によって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができません。本商品は、「64bit」、「128bit」、「152bit」に対応しています。

①「有効」をクリックします。

② WEP 暗号化強度を選択します。

③ 暗号キーを入力します。

④「進む」をクリックします。

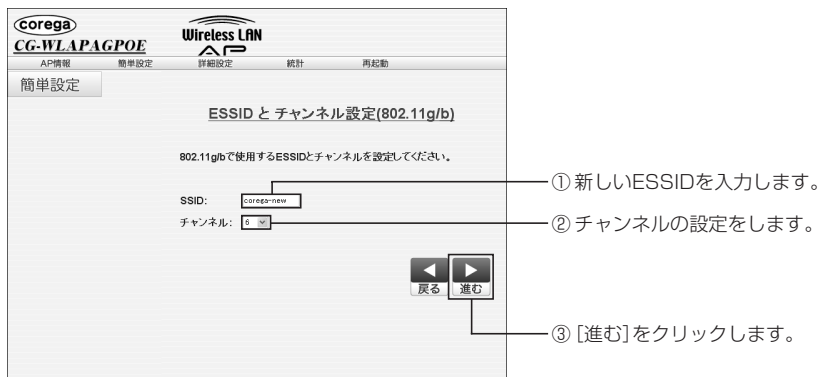
入力が完了したら、「進む」をクリックします。



WEP の設定をしない場合、次の画面が表示されますので、「OK」をクリックしてください。なお、IEEE802.11g/b の場合も同様となります。

「OK」をクリックします。

- 4 次にIEEE802.11g/b用のESSIDとチャンネルを設定します。「ESSID」の入力欄に新しいESSIDを入力し、チャンネルの設定をして「進む」をクリックします。ここでは例として、新しいESSIDを「corega-new」に設定します。



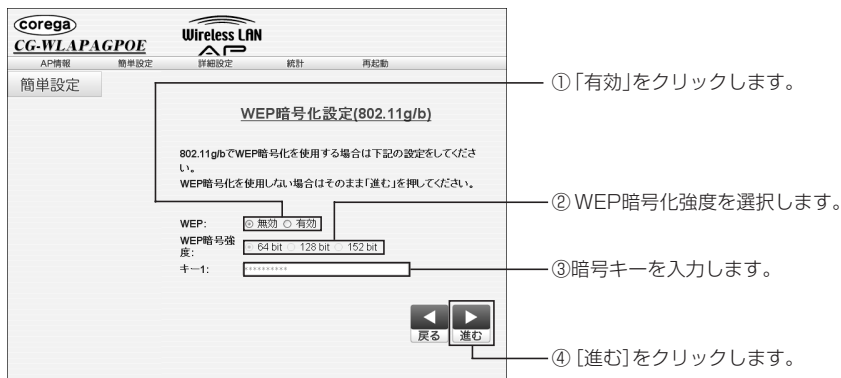
注意

本商品のESSIDを変更すると、設定に使用したパソコンを含めて、一時的に、無線接続しているすべてのパソコンからネットワークへの接続ができなくなります。ネットワークに接続するためには、無線接続しているすべてのパソコン（無線LANアダプタ）に同じESSIDを設定してください。

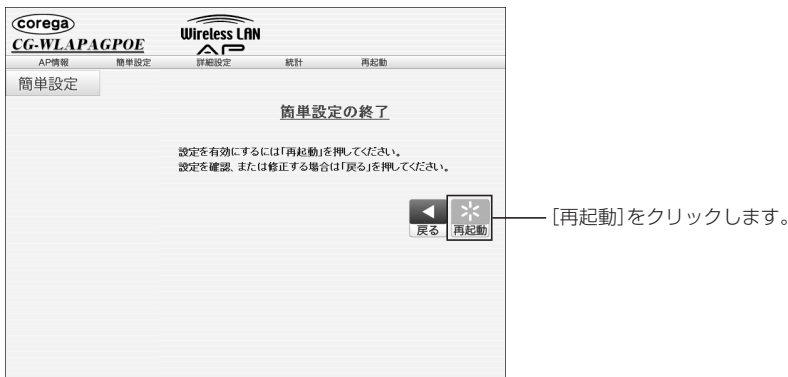
- 5 続いてIEEE802.11g/b用のWEPの設定を行います。WEPの「有効」をクリックしてから「64bit」、「128bit」、「152bit」の中から選択し、「キー1」の入力欄に直接入力します。キー1には暗号強度に合わせた桁の値を入力してください。



WEPキーの桁数については、手順3をご覧ください。



- 6 「簡単設定の終了」が表示されたら、[再起動] をクリックします。



- 7 本商品の再起動が完了したら、本商品に接続するすべてのパソコン（無線 LAN アダプタ）の ESSID と WEP の設定を、本商品に設定した ESSID と WEP の設定に変更します。



パソコン（無線 LAN アダプタ）の ESSID と WEP の設定方法については、無線 LAN アダプタの取扱説明書をご覧ください。

ESSID を変更した後、ネットワークに接続できることを確認してください。うまく接続できない場合は、ESSID の入力や WEP の設定を間違えていないか、または正しく設定されているかを確認し、それでも接続できない場合は、「PART4 トラブルや疑問があったら」（P.57）をご覧ください。

簡単設定が終了したら

本商品の設定が終了したら、目的に応じて進んでください。

・本商品をネットワーク機器に接続する

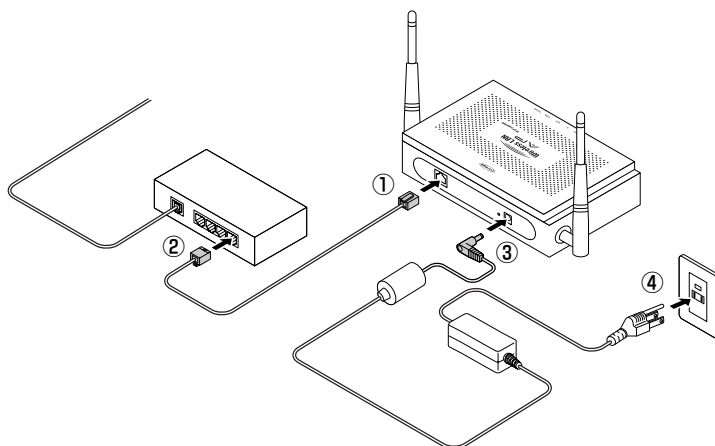
本商品をネットワーク機器（ADSL モデムやルータ、ハブなど）に接続するには、次の手順で行ってください。



企業などで使用する場合は、本商品の設定時には、本商品と設定用パソコンの間にルータやレイヤ3スイッチなどを挟まないように接続してください。一般のご家庭など、ルータが存在しないか、もしくはインターネット接続のためのルータだけが存在する環境では、考慮する必要はありません。

- 1 本商品、ネットワーク機器（ADSL モデムやルータ、ハブなど）、パソコンなど、ネットワーク接続する機器の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いてください。

- 2 本商品背面のLAN ポートに付属のLAN ケーブルを接続します (①)。
- 3 ネットワーク機器 (ADSL モデムやルータ、ハブなど) のLAN ポートに、LAN ケーブルのもう一方を接続します (②)。
- 4 ネットワーク機器 (ルータ、ハブ、ADSL モデムなど) の電源を入れます。
- 5 本商品背面の DC ジャックに AC アダプタの DC プラグを接続します (③)。
- 6 AC アダプタのもう一方をコンセントに接続します。本商品の電源が入り、本商品前面の Power LED が点滅します。Power LED は初期動作終了後、点灯します (④)。



・インターネットなどに接続できるか確認する

本商品のLANポートに接続したルータやハブを経由してインターネットなどに接続できる環境の場合は、無線LANに接続しているパソコンからインターネットに接続できるかをご確認ください。本商品とパソコンが正しく無線で接続されているにもかかわらず、うまくインターネットに接続できない場合は、本商品に接続している各機器の取扱説明書をご覧ください。

・設定用パソコン以外に接続したい機器を接続する

設定用パソコンとして接続したパソコン以外にも、無線LANに接続したいパソコンなどがある場合は、無線LANアダプタの取扱説明書をご覧ください。パソコン(無線LANアダプタ)の設定をしてください。本商品の設定は必要ありません。

・ESSID や WEP 以外のセキュリティを設定する

無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、外部から通信を傍受されたり、ネットワークへ不正侵入されたりする恐れがあります。本商品を安心してご利用いただくために、「IEEE802.1X」、「WPA」、「WPA2」、「MAC アドレス

フィルタリング]、「パスワード」などのセキュリティを設定することができます。詳しくは「PART3 設定ユーティリティについて」の「セキュリティ設定」(P.40)をご覧ください。

・本商品の通信モードを設定する

本商品の通信モードには「アクセスポイントモード」、「LAN間接続モード」、「リピータモード」、「クライアントモード」の4種類があります。お使いのネットワークの形態に合わせて、本商品のモードを変更してお使いください。各種モードについては、「本商品の通信モード一覧」をご覧ください。また、設定の詳細については、「PART3 設定ユーティリティについて」の「WDS設定」(P.48)をご覧ください。

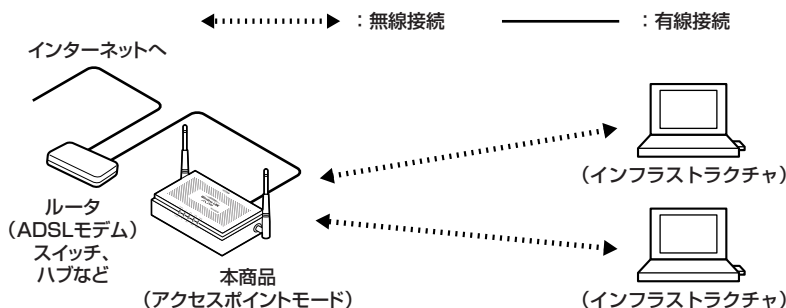


セキュリティにWPAおよびWPA2を使用している場合は、アクセスポイントモードのみ使用可能です。

■本商品の通信モード一覧

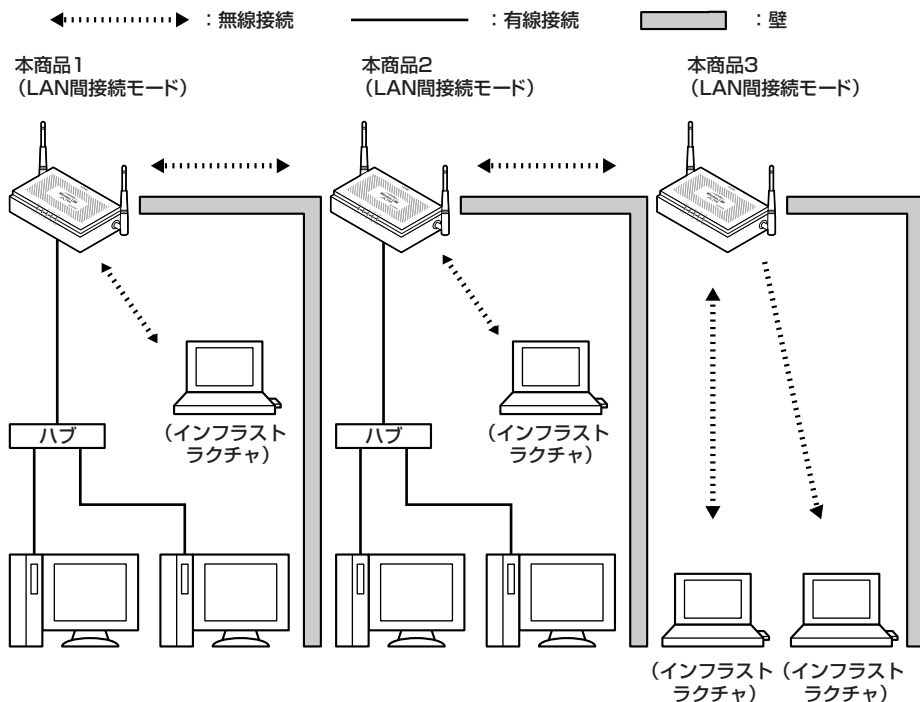
●「アクセスポイントモード」

本商品と無線LANアダプタを無線で通信します。無線LANアダプタはインフラストラクチャ（Infrastructure）モードに設定してください。



●「LAN 間接続モード」

アクセスポイントモードで設定した本商品同士を、最大で8台まで無線で通信させることができます。接続先の本商品の MAC アドレスを入力してください。

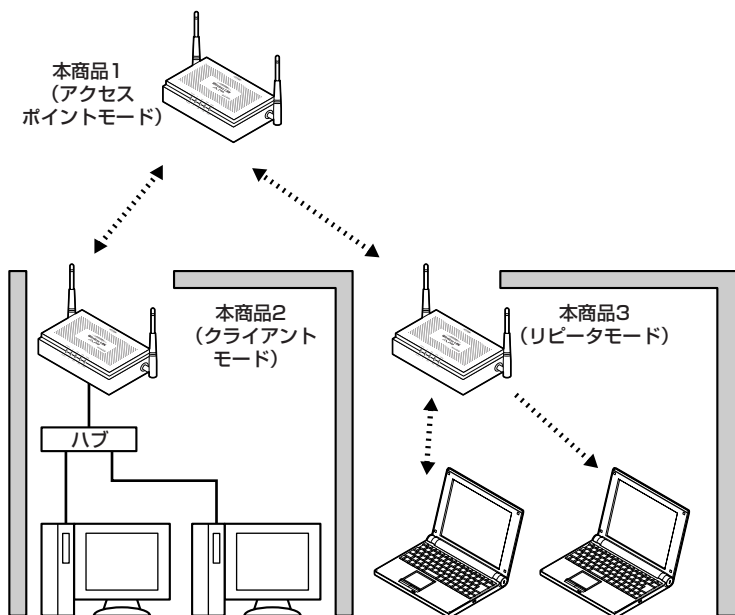


注意 MACアドレスは、有線／無線を含めたすべての経路でループにならないよう登録してください。

●「リピータモード」

電波が届きにくい場合でも、「リピータモード」に設定した本商品を設置し、電波を中継させて通信することができます。接続先の本商品の MAC アドレスを入力してください。

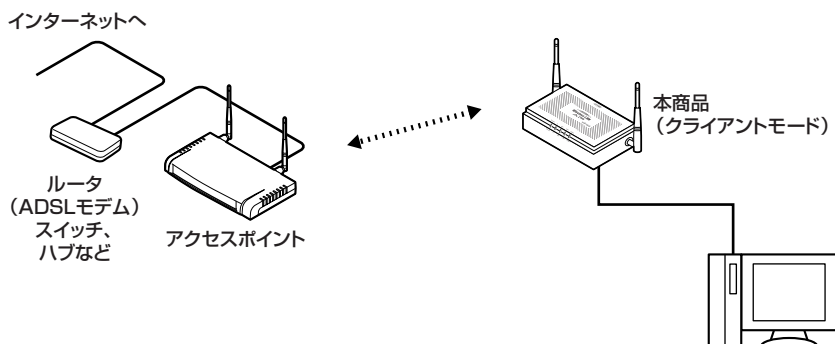
◀.....▶ : 無線接続 ————— : 有線接続 ■ : 壁



●「クライアントモード」

本商品をパソコンに接続して、無線クライアントとして使用することができます。

◀.....▶ : 無線接続 ————— : 有線接続



PART 3

設定ユーティリティについて

本商品には設定ユーティリティが内蔵されており、「簡単設定」で設定できない項目（セキュリティなど）も、設定ユーティリティを使用して詳細な設定をすることが可能です。

設定ユーティリティを起動する

本商品の設定ユーティリティは、Web ブラウザから起動します。起動方法については「PART2 簡単接続を使って本商品を設定する」の「設定ユーティリティを起動する」（P.23）をご覧ください。

■設定方法

設定ユーティリティを使用する場合は、はじめにメニューバーから設定したい項目を選択します。



メニューバーから設定する項目を選択します。

設定項目を選択し、各設定画面で設定を変更したら、[適用] をクリックします。



- ・ 設定ユーティリティの各設定画面を切り替えるときは、十分な時間間隔をおいてクリックしてください。短い間隔で設定画面を切り替えようとすると、誤動作の原因となります。
- ・ 設定画面が切り替わらないなど、設定途中で本商品にアクセスできなくなった場合は、背面のInitスイッチを押して工場出荷時に戻して設定しなおしてください。詳しくは「PART4 トラブルや疑問があったら」の「本商品を工場出荷時の状態に戻したい」（P.67）をご覧ください。

■設定ユーティリティを終了するには

本商品の設定終了後、Web ブラウザを終了すると、設定ユーティリティを終了できます。

Webブラウザでの設定項目について

Web ブラウザでは、次の設定ができます。

〈メニュー名〉

〈おもな機能〉

AP情報

設定ユーティリティ起動時の画面です。本商品の現在の設定値を確認できます (P.34)。

簡単設定

ESSID とチャンネル設定、WEP の暗号化設定を行います (P.35)。

詳細設定

本商品を使って無線 LAN に接続するためのいろいろな設定や、ファームウェアのアップデートを行います (P.36)。

統計

本商品の現在のスループット値、送信量や受信量などを確認できます (P.54)。

再起動

本商品の再起動を行います (P.56)。



説明では表の入力例を使用した場合の画面例を掲載しています。実際にはご使用の環境に合った値を入力してください。

■AP情報

本商品の現在の設定値が確認できます。この項目を呼び出すには、メニューバーの「AP情報」をクリックしてください。また、設定ユーティリティ起動も自動的にこの画面が表示されます。



3

項目名		説明
IP 設定の状態	① MAC アドレス	本商品の MAC アドレスが表示されます。
	② IP 取得方式	DHCP（自動取得）、手動取得（固定）のいずれかを表示します。工場出荷時は「手動設定」に設定されています。「IP 設定」画面で設定します。（P.36）
	③ IP アドレス	本商品に設定されている IP アドレスが表示されます。IP アドレスは「IP 設定」画面で設定します（P.36）。
	④ サブネットマスク	本商品に設定されているサブネットマスクが表示されます。
	⑤ ゲートウェイ	使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを表示します。
802.11a/b/g (無線設定) の状態	⑥ ESSID	本商品に設定されている ESSID が表示されます。ESSID は「簡単設定」（P.35）および「詳細設定」の「無線設定」（P.37）画面で設定します。
	⑦ チャンネル	本商品の現在のチャンネルが表示されます。チャンネルは「簡単設定」（P.35）および「詳細設定」の「無線設定」（P.37）画面で設定します。詳しくは「PART2 簡単接続を使って本商品を設定する」の「セキュリティを設定する」（P.25）をご覧ください。
	⑧ 転送帯域	パソコン（無線 LAN アダプタ）と本商品が通信するときの本商品の転送速度です。 ※工場出荷時は「Auto」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
	⑨ セキュリティ	本商品の現在の認証方式を表示します。

■簡単設定

ESSID、チャンネルおよび WEP の設定が可能です。この項目を呼び出すには、メニューバーの「簡単設定」をクリックしてください。詳しくは「PART2 簡単接続を使って本商品を設定する」の「本商品を設定する」（P.23）をご覧ください。

■詳細設定

＜AP 設定＞

本商品のいろいろな設定やファームウェアのアップデートを行います。

● IP 設定

本商品の IP アドレスやサブネットマスクなどの設定を行います。

- 1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「IP 設定」をクリックします。



項目名	入力例	説明
① MAC アドレス	—	本商品の MAC アドレスが表示されます。
② IP 取得方法	手動設定	<p>本商品の IP 取得方法を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手動設定：「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイ」を手動で設定します。 ・ DHCP：IP アドレスを自動的に取得します。 <p>※工場出荷時は「手動設定」に設定されています。</p>
③ IP アドレス	192.168.1.230	<p>本商品の IP アドレスを入力します。</p> <p>※工場出荷時は「192.168.1.230」に設定されています。</p>
④サブネットマスク	255.255.255.0	<p>本商品が使用しているネットワークのサブネットマスクを入力します。</p> <p>※工場出荷時は「255.255.255.0」に設定されています。</p>

項目名	入力例	説明
⑤ゲートウェイ	192.168.1.1	<p>使用しているネットワークのデフォルトゲートウェイアドレスを設定します。通常は、他のネットワークとの接続に使用しているルータのLAN側IPアドレスとなります。</p> <p>※同一LAN内のパソコンからだけ本商品を使用する場合は、変更する必要はありません。</p> <p>※工場出荷時は「192.168.1.1」に設定されています。</p>

2 設定後、「適用」をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

●無線設定

本商品のより高度な設定を行います。



各設定項目について十分に理解しており、かつ変更の必要がある場合にだけ、変更を行ってください。不用意に変更を行うと、通信ができなくなる場合があります。

1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「無線設定」をクリックします。

corega
CG-WLAPAGPOE

Wireless LAN AP

AP情報 簡単設定 詳細設定 統計 再起動

詳細設定

無線設定

802.11モード 802.11b ①

ESSID corega ②

ステルスAP 無効 ③

周波数 2.41 GHz ④

チャンネル 36 ⑤

伝送速度 Auto ⑥

ビーム間隔(秒) (20 - 1000) 100 ⑦

DTIM間隔 (1 - 255) 1 ⑧

パケット分割しきい値 (256 - 2346) 2346 ⑨

RTS しきい値 (256 - 2346) 2346 ⑩

電波強度 最大 ⑪

Super A/G 無効 ⑫

電波 On ⑬

802.11g 保護 無効 ⑭

適用

2 必要に応じて次の設定を行います。

項目名	入力例	説明
① 802.11 モード	802.11g/b	設定する無線LANの規格を選択します。IEEE802.11aとIEEE802.11g/bの設定は、それぞれ行う必要があります。
② ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。接続する全てのパソコン（無線LANアダプタ）に同じ名前を設定してください。 ※工場出荷時は「corega」に設定されています。
③ ステルス AP	無効	「有効」に設定すると無線LANアダプタを持つパソコンから本商品のESSIDを検索されないようにできます。またESSIDを「ANY」や空白にしているパソコン（無線LANアダプタ）からのアクセスを拒否することができます。
④ 周波数	—	チャンネルで設定した周波数を表示します。
⑤ チャンネル	6	本商品が使用するチャンネルを設定します。1～13の間で任意の値に変更してください。電波の届く範囲に他のアクセスポイントが存在する場合は、混信の恐れがあるので、5チャンネル以上離れたチャンネルを設定してください。 ※チャンネルによって通信に使用する電波の周波数が異なります。 ※工場出荷時はIEEE802.11aが「6」に、IEEE802.11g/bが「36」に設定されています。
⑥ 伝送速度	Auto	パソコン（無線LANアダプタ）と本商品が通信するときの本商品の転送速度が表示されます。
⑦ ビーコン間隔	100	アクセスポイントが常発生している、アクセスポイント情報の入ったショートパケット（ビーコン）の送信間隔を設定します。 ※工場出荷時は「100」に設定されています。通常は変更する必要はありません。

項目名	入力例	説明
⑧ DTIM 間隔	1	DTIM (配信トラフィック・インディケータ・メッセージ) 値を設定します。 ※工場出荷時は「1」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑨ パケット分割 しきい値	2346	有線LANから受信したパケットを無線LAN側に転送する際に分割するときのしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットが分割されます。 ※パケット長は、偶数で指定してください。 ※工場出荷時は「2346」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑩ RTS しきい値	2346	有線LANから受信したパケットを無線LAN側に転送する際にRTS (送信要求) パケットが送信されるしきい値を設定します。ここで設定した値を超えるパケットを送信する場合にRTS (送信要求) パケットが送られます。 ※工場出荷時は「2346」に設定されています。通常は変更する必要はありません。
⑪ 電波強度	最大	本商品の電波出力の強度を設定します。
⑫ Super A/G	無効	「有効」に設定すると「Super G」および「Super A/G」モードを搭載した無線機器と通信した時、バースト転送およびデータ圧縮を行います。
⑬ 電波	On	本商品が無線通信に使用する電波のオン／オフができます。
⑮ 802.11g 保護	無効	IEEE802.11g/bを使用して通信するときに、IEEE802.11bの使用を選択できます。「有効」を選択するとIEEE802.11bで通信ができなくなります。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。

設定後、「適用」をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

●セキュリティ設定

本商品のセキュリティが設定できます。



本商品の工場出荷時は、セキュリティは設定されていません。無線LANでは電波を使って通信を行うため、電波が届く範囲であれば、通信内容を傍受されたり、不正侵入されたりする恐れがあります。このようなことがないようにWEPやWPA/WPA2の設定を行うことをおすすめします。

「WEPを設定する」

WEPキーは、通信内容（データ）を保護するための暗号です。WEPによって通信内容を暗号化すると、仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。



WEPは「簡単設定」を使って設定することもできます。詳しくは「PART2 簡単接続を使って本商品を設定する」の「本商品を設定する」(P.23)をご覧ください。

- 1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「セキュリティ設定」をクリックします。

corega CG-WLAPGPOE Wireless LAN

AP情報 簡単設定 詳細設定 統計 再起動

詳細設定

セキュリティ設定

① BSSID 802.11b/g/n ② 認証方式 WPA2-PSK (AES) ③ 暗号方式 WEP ④ 暗号化 有効 ⑤ WEP暗号強度 64 bit

WEPキー

⑥

デフォルトキー 1

キー1 *****

キー2 *****

キー3 *****

キー4 *****

[適用]

項目名	説明
① 802.11 モード	セキュリティを設定する無線 LAN の規格を選択します。 IEEE802.11a と IEEE802.11g/b の設定は、それぞれ行う必要があります。
② 認証方式	WEP を使用する場合は「Open System」、「Shared Key」、「AUTO (Open System / Shared Key)」のいずれかを選択します。 ※工場出荷時は「Open System」に設定されています。
③ 暗号方式	WEP を使用する場合は「WEP」に固定され、選択できません。
④ 暗号化	WEP を使用する場合は「有効」を選択します。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。
⑤ WEP 暗号強度	64 / 128 / 152bit のいずれかを選択できます。
⑥ WEP キー	WEP キー (暗号キー) を入力し、デフォルトキー 1 ~ 4 を選択します。 ※入力した WEP キーは画面上では「*」で表示されます。

- 2 図の②から、「Open System」、「Shared Key」、「AUTO (Open System / Shared Key)」のいずれかを選択します。
- 3 図の④で「有効」を選択します。
- 4 図の⑤で WEP の暗号強度を「64bit」、「128bit」、「152bit」から選択します。暗号キーの桁の多い WEP を利用する方が安全性が高くなります。
 - ・ 64bit : 16 進数で (0 ~ 9, a ~ f) 10 桁の暗号キーを利用可能
 - ・ 128bit : 16 進数で (0 ~ 9, a ~ f) 26 桁の暗号キーを利用可能
 - ・ 152bit : 16 進数で (0 ~ 9, a ~ f) 32 桁の暗号キーを利用可能
- 5 図の⑥で WEP の暗号キーを設定します。
- 6 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。



本商品にセキュリティを設定した場合、本商品に無線接続するすべてのパソコンの無線 LAN アダプタに、本商品に設定したのと同じセキュリティを設定する必要があります。

「IEEE802.1Xを設定する」

IEEE802.1Xでは、サーバを使ってユーザ認証を行い、許可されていない不正なアクセスを防ぐことができますようになります。ユーザ認証には、すべての無線LANクライアントと無線LANアクセスポイントがIEEE 802.1Xに対応している必要があります。また、IEEE 802.1Xを使用するには、認証を行うためにRADIUSサーバ（企業などのローカル環境でユーザ認証をコントロールするサーバ）が必要となります。

- 1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「セキュリティ設定」をクリックします。

The screenshot shows the 'Wireless LAN' configuration page for a Corega CG-WLAPGPOE device. The 'Security Settings' (セキュリティ設定) section is active. The settings are: 802.11 mode (802.11a), Authentication method (IEEE802.1X), Encryption method (WEP), RADIUS server (1), RADIUS server IP (1912), Port (1812), Shared secret (blank), and Encryption (None). Numbered callouts 1 through 8 point to these specific settings.

項目名	説明
① 802.11 モード	セキュリティを設定する無線 LAN の規格を選択します。 IEEE802.11a と IEEE802.11g/b の設定は、それぞれ行う必要があります。
② 認証方式	IEEE802.1X を使用する場合は「IEEE802.1X」を選択します。 ※工場出荷時は「Open System」に設定されています。
③ 暗号方式	IEEE802.1X を使用する場合は選択できません。
④ RADIUS サーバ	設定する RADIUS サーバを選択します。「1」がプライマリ、「2」がセカンダリです。 ※IEEE802.1X を使用する場合、「1」のプライマリへの入力は必須となります。
⑤ IP アドレス	RADIUS サーバの IP アドレスを入力します。
⑥ ポート番号	RADIUS サーバで使用するポート番号を入力します。
⑦ 共有シークレット	RADIUS サーバに設定されている共有シークレットを入力します。
⑧ 暗号化	IEEE802.1X を使用する場合は「有効」を選択します。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。



RADIUSサーバの情報は、ネットワーク管理者などに確認して入力してください。

- 2 図の②で「IEEE802.1X」を選択します。
- 3 図の④で、設定する RADIUS サーバを選択します。
- 4 図の⑤、⑥、⑦に RADIUS サーバの情報を入力します。
- 5 図の⑧で「有効」を選択します。
- 6 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。



本商品にセキュリティを設定した場合、本商品に無線接続するすべてのパソコンの無線 LAN アダプタに、本商品に設定したのと同じセキュリティを設定する必要があります。

「WPA/WPA2 を設定する」

WPA/WPA2 とは、暗号プロトコル（AES または TKIP）を採用したセキュリティ規格です。通信内容の暗号を更新するので WEP より解読されにくくなります。WPA/WPA2 には「PSK」と「EAP」の二種類があります。

・PSK（パーソナル）

一般家庭向きの WPA 規格です。ユーザが任意で設定した認証キーに基づいて通信内容を暗号化し、TKIP を使用して通信データの暗号化を一定時間ごとに更新します。

・EAP（エンタープライズ）

企業などの大規模なネットワークに適した WPA 規格です。RADIUS サーバに認証キーのやりとりをする 802.1X 認証と組み合わせてセキュリティを強化します。

「WPA-PSK および WPA2-PSK を設定する」

- 1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「セキュリティ設定」をクリックします。



項目名	説明
① 802.11 モード	セキュリティを設定する無線 LAN の規格を選択します。 IEEE802.11a と IEEE802.11g/b の設定は、それぞれ行う必要があります。
② 認証方式	WPA-PSK を使用する場合は、「WPA/WPA2-PSK (パーソナル)」を、WPA2-PSK を使用する場合は、「WPA2-PSK (パーソナル)」を選択します。 ※工場出荷時は「Open System」に設定されています。
③ WPA 共有キー	初回アクセス時に使用する 8 ～ 63 文字 (半角英数) の任意の暗号キーを入力します。
④ 暗号方式	本商品の暗号方式を設定します。 自動 : AES、TKIP の両方で通信できるように設定します。 AES : 米国商務省が暗号化標準技術として承認した暗号規格。TKIP より強固な暗号化を施すことが可能です。 TKIP : 一定時間ごとに暗号キーを変更する暗号化プロトコルです。
⑤ 更新間隔	WPA/WPA2 の暗号キーを更新する間隔を指定します。 単位は秒になります。
⑥ 暗号化	WPA/WPA2 を使用する場合は「有効」を選択します。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。

- 2 図の②で認証方式を選択します。WPA-PSK を使用する場合は、「WPA/WPA2-PSK (パーソナル)」を、WPA2-PSK を使用する場合は、「WPA2-PSK (パーソナル)」を選択します。
- 3 図の③に使用する暗号キーを入力します。
- 4 図の④で暗号方式を選択します。
- 5 図の⑤で更新間隔を指定します。
- 6 図の⑥で「有効」を選択します。
- 7 設定後、「適用」をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。



本商品にセキュリティを設定した場合、本商品に無線接続するすべてのパソコンの無線 LAN アダプタに、本商品に設定したのと同じセキュリティを設定する必要があります。

「WPA-EAP および WPA2-EAP を設定する」

1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「セキュリティ設定」をクリックします。

項目名	説明
① 802.11 モード	セキュリティを設定する無線 LAN の規格を選択します。 IEEE802.11a と IEEE802.11g/b の設定は、それぞれ行う必要があります。
② 認証方式	WPA-EAP を使用する場合は、「WPA/WPA2-EAP (エンタープライズ)」を、WPA2-EAP を使用する場合は、「WPA2-EAP (エンタープライズ)」を選択します。 ※工場出荷時は「Open System」に設定されています。
③ 暗号方式	本商品の暗号方式を設定します。 自動 : AES、TKIP の両方で通信できるように設定します。 AES : 米国商務省が暗号化標準技術として承認した暗号規格。TKIP より強固な暗号化を施すことが可能です。 TKIP : 一定時間ごとに暗号キーを変更する暗号化プロトコルです。
④ 更新間隔	WPA/WPA2 の暗号キーを更新する間隔を指定します。 単位は秒になります。通常、変更する必要はありません。
⑤ RADIUS サーバ	設定する RADIUS サーバを選択します。「1」がプライマリ、「2」がセカンダリです。 ※WPA-EAP および WPA2-EAP を使用する場合、「1」のプライマリへの入力必須となります。
⑥ IP アドレス	RADIUS サーバの IP アドレスを入力します。
⑦ ポート番号	RADIUS サーバで使用するポート番号を入力します。
⑧ 共有シークレット	RADIUS サーバに設定されている共有シークレットを入力します。
⑨ 暗号化	IEEE802.1X を使用する場合は「有効」を選択します。 ※工場出荷時は「無効」に設定されています。

- 図の②で認証方式を選択します。WPA-EAPを使用する場合は、「WPA/WPA2-EAP (エンタープライズ)」を、WPA2-EAPを使用する場合は、「WPA2-EAP (エンタープライズ)」を選択します。
- 図の③で更新間隔を指定します。
- 図の④で、設定する RADIUS サーバを選択します。
- 図の⑤、⑥、⑦、⑧に RADIUS サーバの情報を入力します。
- 図の⑨で「有効」を選択します。
- 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。



- RADIUSサーバの情報は、ネットワーク管理者などに確認して入力してください。
- 本商品にセキュリティを設定した場合、本商品に無線接続するすべてのパソコンの無線 LAN アダプタに、本商品に設定したのと同じセキュリティを設定する必要があります。

●無線パーティション

- 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「無線パーティション」をクリックします。



- 許可したい項目にチェックを入れます。

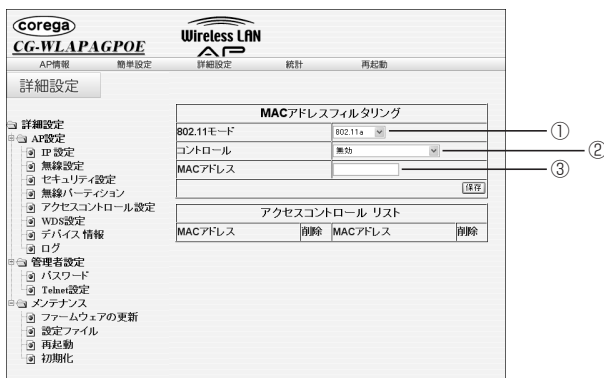
項目名	説明
① 802.11 モード	設定する無線LANの規格を選択します。IEEE802.11aとIEEE802.11g/bの設定は、それぞれ行う必要があります。
②無線クライアント 同士の通信	チェックをつけると本商品に接続している無線LANアダプタ間の通信を許可します。
③有線LANから 無線へのアクセス	チェックをつけると本商品に接続している有線LANから無線LANアダプタ間の通信を許可します。
④802.11aと802.11g/b 間の通信	チェックをつけると本商品に接続している有線LANから無線LANアダプタ間の通信を許可します。

3 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

●アクセスコントロール設定

MAC アドレスフィルタリングなどの設定を行います。

- 1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「アクセスコントロール設定」をクリックします。



項目名	説明
① 802.11 モード	設定する無線LANの規格を選択します。IEEE802.11aとIEEE802.11g/bの設定は、それぞれ行う必要があります。
②コントロール	<p>アクセスコントロールを設定することができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「無効」 MAC アドレスフィルタリングを使用しません。 ・「リスト登録したクライアントのみ接続許可」 登録した MAC アドレスのみ接続を許可します。 ・「リスト登録したクライアントのみ接続禁止」 登録した MAC アドレスのみ接続を禁止します。

項目名	説明
③ MAC アドレス	本商品への接続を許可するパソコンの無線LANアダプタのMACアドレスを入力します。MACアドレスは、0～9、A～Fの半角文字で入力してください。「xx:xx:xx:xx:xx:xx」とコロンで区切って入力してください。

2 設定後、[保存] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

● WDS 設定

本商品の接続モード（WDS）の設定を行います。



セキュリティにWPAおよびWPA2を使用している場合は、アクセスポイントモードのみ使用可能です。

1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「WDS 設定」をクリックします。

モード	説明
① 802.11 モード	設定する無線 LAN の規格を選択します。IEEE 802.11a と IEEE802.11g/b の設定は、それぞれ行う必要があります。
② アクセスポイントモード	本商品と無線LANアダプタを無線で通信します。 ※無線 LAN アダプタはインフラストラクチャ (Infrastructure) モードに設定してください。
③ LAN 間接続モード	アクセスポイントモードで設定した本商品同士を無線で通信させることができます。接続先の本商品の MAC アドレスを入力してください。 ※接続可能台数は最高 8 台までです。

モード	説明
④リピータモード	電波が届きにくい場合でも、「リピータモード」に設定した本商品を設置して、電波を中継させて通信することができます。接続先の機器のMACアドレスを入力してください。
⑤クライアントモード	本商品をパソコンに接続して、無線クライアントとして使用することができます。



- ・MACアドレスは、有線／無線を含めたすべての経路でループにならないよう登録してください。
- ・クライアントモードでESSIDを入力する場合、アクセスポイントを検索し、接続するアクセスポイントを選択して、ESSIDを自動入力してください。ステルスAP機能などでアクセスポイントのESSIDが自動入力されない場合は、アクセスポイントを検索し、接続するアクセスポイントを選択してからESSIDを入力してください。

3

- 2 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

●デバイス情報

本商品のシステム名の変更やシステム情報を表示します。システム名を変更するには、次の手順で行ってください。

- 1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「デバイス情報」をクリックします。
- 2 「システム名」を入力します。



システム名に使用可能な文字の種類は、半角英数字と半角のハイフン (-) となり、文字数は最大で 39 文字まで使用可能です。

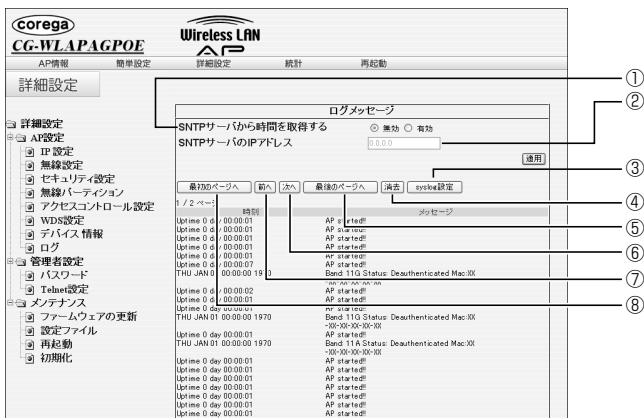
名称を変更する場合は、こちらに入力します。

- 3 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

●ログ

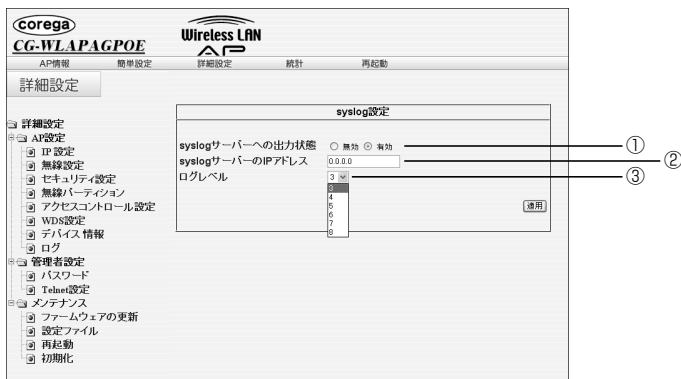
本商品のシステム名の変更やシステム情報を表示します。

- 1 「詳細設定」メニューの「AP 設定」－「ログ」をクリックします。
- 2 SNTP の設定のみ行った場合は「適用」をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。ログの設定を行う場合は、手順 3 にお進みください。



項目名	説明
①SNTP を使って ログ用の時刻を 取得する	SNTP サーバを使用して時刻を取得するかどうか選択します。「無効」を選択した場合は、接続したパソコンから時刻を取得します。 ※工場出荷時は「無効」が選択されています。
②SNTP サーバの IP アドレス	①で「有効」を選択した場合に、SNTP サーバの IP アドレスを入力します。ドメイン名は使用できません。
③ syslog 設定	クリックすると、ログの設定を変更する画面になります。詳しくは手順 3 をご覧ください。
④消去	ログをすべて消去します。
⑤最後のページへ	ログの最後のページに移動します。
⑥次へ	ログの次のページに移動します。
⑦前へ	ログの前のページに移動します。
⑧最初のページへ	ログの最初のページに移動します。

- 3 手順 2 の画面で「syslog 設定」をクリックすると、次の画面が表示されます。



項目名	説明
①syslog サーバへの出力状態	「有効」を選択すると、ログを syslog サーバへ出力することができます。 ※工場出荷時は「無効」が選択されています。
②syslog サーバの IP アドレス	①で「有効」を選択した場合に、syslog サーバの IP アドレスを入力します。
③ログレベル	①で「有効」を選択した場合に、ログのレベルを指定します。

4 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

〈管理者設定〉

パスワードや Telnet の設定を行います。

●パスワード

パスワードの設定を変更することができます。設定方法については、「PART4 トラブルや疑問があったら」の「本商品のパスワードを変更したい」(P.63)をご覧ください。

● Telnet 設定

設定すると Telnet を使って本商品の設定を行うことができます。

- 1 「詳細設定」メニューの「管理者設定」－「Telnet 設定」をクリックします。

The screenshot shows the configuration interface for a Corega Wireless LAN AP. The left sidebar contains a tree menu with categories like '詳細設定' (Detailed Settings), '管理者設定' (Administrator Settings), and 'メンテナンス' (Maintenance). Under '管理者設定', 'Telnet設定' is selected. The main area displays the 'Telnet設定' form with the following fields:

Telnet設定	
Telnet	<input checked="" type="checkbox"/> 有効
タイムアウト時間	3 分
<input type="button" value="適用"/>	

項目名	説明
① Telnet	チェックをつけるとTelnetで本商品の設定を行うことができます。
②タイムアウト時間	Telnet接続での通信待機時間を設定することができます。設定された時間でTelnet 接続が切断されます。

- 2 設定後、[適用] をクリックし、本商品を再起動して設定を反映させます。

〈メンテナンス〉

ファームウェアのアップデート、設定内容の保存、再起動を行うことができます。

●ファームウェアの更新

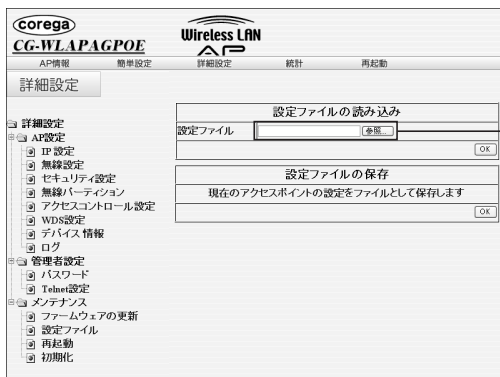
ファームウェアの更新を行うことができます。詳しい操作方法については、「PART4 トラブルや疑問があったら」の「最新のファームウェアを入手して更新したい」(P.64)をご覧ください。

●設定ファイル

現在のアクセスポイントの設定を保存したり、保存された設定ファイルを読み込むことができます。

「設定ファイルの読み込み」

- 1 「詳細設定」メニューの「メンテナンス」－「設定ファイル」をクリックします。
- 2 読み込みたい設定ファイルの場所を入力するか、[参照] から選択し、[OK] をクリックします。



入力欄に設定ファイルの場所を直接入力するか、[参照] をクリックしてファイルの場所を選択します。

3

「設定ファイルの保存」

- 1 「詳細設定」メニューの「メンテナンス」－「設定ファイル」をクリックします。
- 2 「設定ファイルの保存」の [OK] をクリックします。



[OK] をクリックします。

- 3 ファイルを保存する場所を指定し、ファイルを保存します。

●再起動

再起動をするとき、または工場出荷時に戻したいときにクリックします。詳しくは「PART4 トラブルや疑問があったら」の「本商品を再起動したい」(P.65)をご覧ください。

■統計

本商品のスループット値や送信量、受信量、WEPフレームエラーなどの設定を表示します。
[更新] をクリックすると、内容が更新されます。



IEEE802.11a と IEEE802.11g/b はそれぞれ項目が分かれています。

●スループット

スループット値を表示したいときは、メニューリストの「統計」から「スループット」をクリックします。

Corega

CG-WLAPAGPOE

Wireless LAN

AP

AP情報 簡単設定 詳細設定 統計 再起動

統計

統計

スループット

802.11a

802.11g/b

送信力カウンター

802.11a

802.11g/b

受信力カウンター

802.11a

802.11g/b

WEPエラーカウンター

802.11a

802.11g/b

スループット (802.11a)

正常送信率 (%)	100 %
再送信率 (%)	0 %
正常受信率 (%)	0 %
再受信率 (%)	0 %
RTS応答数 (バケット)	16
RTS応答率 (%)	0 %

更新

●送信カウンター

送信量を表示したいときは、メニューリストの「統計」の「送信量」から、設定している規格をクリックします。

corega

CG-WLAPAGPOE

Wireless LAN

AP

AP情報 簡単設定 詳細設定 統計 再起動

統計

統計

スループット

802.11a

802.11g/b

送信カウンター

802.11a

802.11g/b

WEPIエラーカウンタ

802.11a

802.11g/b

送信フレーム (802.11a)

分割パケット送信数 (パケット)	2
マルチキャストフレーム送信数 (パケット)	0
送信エラー数 (パケット)	0
総再送信回数 (パケット)	0
再送成功数 (パケット)	0

更新

●受信カウンター

受信量を表示したいときは、メニューリストの「統計」の「受信量」から、設定している規格をクリックします。

corega

CG-WLAPAGPOE

Wireless LAN

AP

AP情報 簡単設定 詳細設定 統計 再起動

統計

統計

スループット

802.11a

802.11g/b

送信カウンター

802.11a

802.11g/b

受信カウンター

802.11a

802.11g/b

WEPIエラーカウンタ

802.11a

802.11g/b

受信フレーム (802.11a)

分割パケット受信数 (パケット)	0
マルチキャストフレーム受信数 (パケット)	0
FCSエラーフレーム受信数 (パケット)	20
フレーム再受信数 (パケット)	0
Ack 未受信数 (パケット)	0

更新

● WEP フレームエラー

WEP フレームエラー値を表示したいときは、メニューリストの「統計」から「WEP フレームエラー」をクリックします。



The screenshot shows the web interface of a Corega CG-WLAPAGPOE Wireless LAN AP. The top navigation bar includes links for AP情報, 簡単設定, 詳細設定, 統計, and 再起動. The '統計' (Statistics) tab is selected. On the left, a tree view shows the following categories: 統計, スループット (with sub-items 802.11a and 802.11g/b), 送信カウンター (with sub-items 802.11a and 802.11g/b), 受信カウンター (with sub-items 802.11a and 802.11g/b), and WEPエラーカウンター (with sub-items 802.11a and 802.11g/b). The 'WEPエラーカウンター (802.11a)' category is expanded, displaying a table with the following data:

WEPエラーカウンター (802.11a)	
未承認WEPフレーム数 (パケット)	0
WEP ICVエラー数 (パケット)	0

A '更新' (Update) button is located at the bottom right of the table.

■再起動

本商品を再起動したい時にクリックします。詳しくは「PART4 トラブルや疑問があったら」の「本商品を再起動したい」(P.65)をご覧ください。

PART 4

トラブルや疑問があったら

本商品を使っていて「困ったな」、「うまく動かない…」と思ったときや、疑問があったときは、このPARTで解決方法を探してください。

解決のステップ

①取扱説明書などを再確認する／管理者に確認する

↓ それでも解決しないときは…

②このPARTのQ&Aを確認する

〈トラブルは？〉

- ・ 本商品の設定ユーティリティが表示されない
- ・ 無線LANアダプタを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない
- ・ 本商品のパスワードを忘れた
- ・ ファームウェアの更新に失敗した
- ・ パソコンのネットワーク設定を調べたい
- ・ 本商品のパスワードを変更したい
- ・ 最新のファームウェアを入手して更新したい
- ・ 本商品を再起動したい
- ・ 本商品を工場出荷時の状態に戻したい

↓ それでも解決しないときは…

③コレガのホームページの情報を活用する

↓ それでも解決しないときは…

④それでも解決しなければ、サポート窓口にお問い合わせしてみる

取扱説明書などを再確認する／管理者に確認する

本書以外にも無線LANアダプタ、パソコンに付属の取扱説明書をお手元にご用意ください。また、ルータやモデムなどの他のネットワーク機器の取扱説明書もご用意ください。ネットワークにつながらない原因は複雑なため、本商品の設定が正しくても、他の設定が間違っていたり、外部の装置の問題で正しくつながらないこともあります。なお、企業でお使いの方はネットワークの設定がオフィスによって決められていることがあります。接続できない場合はネットワーク管理部門や部内のネットワーク管理者などに確認してください。

Q&A

■本商品の設定ユーティリティが表示されない

●設定用パソコンのネットワーク設定は正しくできていますか？

「PART2 簡単接続を使って本商品を設定する」の「設定用パソコンのTCP/IPの設定を確認する」(P.17)をご覧ください。パソコンにTCP/IPがインストールされているか、IPアドレスなどTCP/IPの設定が正しくできているかを確認してください。

●パソコンにLANアダプタのドライバや設定用ソフトウェアが正しくインストールされていますか？

LAN アダプタに付属の取扱説明書をご覧ください。ドライバや設定用ソフトウェアが正しくインストールされているか、確認してください。

●プロキシサーバを使う設定になっていませんか？

Webブラウザでプロキシサーバを使う設定になっていると、本商品の設定ユーティリティが表示されません。次の手順で、Webブラウザでプロキシサーバを使用しない設定にしてください。

〈Internet Explorer の場合〉

ここでは、Internet Explorer 6.0 の場合の設定方法をご紹介します。

- 1 Internet Explorer を起動し、「ツール」－「インターネットオプション」をクリックします。
- 2 「インターネットオプション」画面が表示されたら「接続」タブをクリックします。
- 3 「LANの設定」ボタンをクリックします。

- 4 「ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定」画面で、「設定を自動的に検出する」「自動構成スクリプトを使用する」「LANにプロキシサーバーを使用する」のチェックマークを外します。

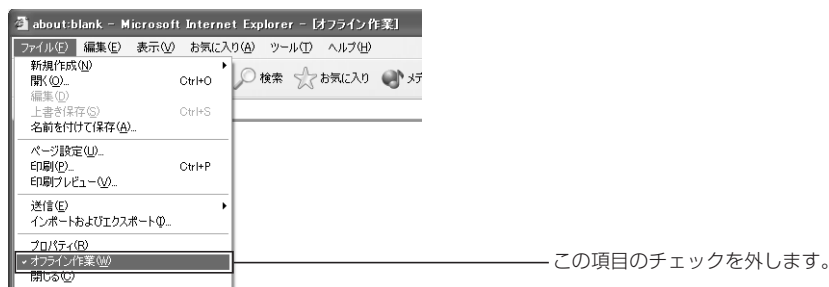


- 5 [OK] をクリックします。

- 6 「インターネットオプション」画面で [OK] をクリックし、パソコンを再起動します。

●Web ブラウザが「オフライン作業」になっていませんか？

Web ブラウザを起動した際に、タイトルバーに「オフライン作業」と表示されている場合は、ネットワークに対して通信が行われていないため、本商品を正常に設定することができません。メニューから「ファイル」－「オフライン作業」を選択し、チェックを外してください。



●どうしても無線で設定できないときは？

有線で接続できるパソコンがあれば、パソコンの LAN ポートと本商品の LAN ポートを付属の LAN ケーブルで接続して設定してください。パソコンの TCP/IP の設定や Web ブラウザの設定は、無線で接続する場合と同様です。有線で接続できるパソコンがないときは、本商品背面の Init スイッチを使用して、工場出荷時の状態に戻してください。詳しくは、この PART の「本商品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.67) をご覧ください。

■無線LANアダプタを取り付けたパソコンからネットワークに接続できない

●無線を利用した家電を使用していませんか？

2.4GHzの無線を使用した家電や、Bluetooth機器、ホームテレホンなどは、無線LANで
使用される周波数に近いので、無線LANに影響を与えることがあります。

●電波状態は問題ないですか？

本商品の使用環境によっては、「通信できない」、「通信速度が遅い」などの問題が発生しま
す。下記の表を参考にして使用環境を調査し、環境に問題がある場合には、本商品の設置場
所を変更する、障害物を取り除く、無線LAN機器同士の距離を短くするなどの対策を試し
てください。

	物質の種類	使用環境例
電波を通す物質	木材、ガラス	木の仕切り、ドア、木造二階建ての1階と2階、ガラス窓
電波を通さない物質	石、レンガ、セメント、コンクリート、鉄	石の壁、レンガの壁、セメントの床や壁、コンクリートの床や壁、鉄の仕切り、ドア、ユニットバス、鉄筋二階建ての1階と2階、防火ガラス

●無線LANアダプタと本商品の無線設定はありますか？

無線LANアダプタの取扱説明書をご覧ください、次の設定を確認後、再設定してください。

- ・ 通信モードが「Infrastructure」になっているか
- ・ ESSIDに本商品と同じ文字列が設定されているか
- ・ WEPまたはIEEE802.1X、WPA/WPA2が設定されていないか
無線LANアダプタ側にWEPまたはIEEE802.1X、WPA/WPA2が設定されている場合は、無線LANアダプタ側の設定を解除するか、本商品を同じ設定にしてください。
- ・ チャンネルの設定はあっているか

●パソコンのパワーマネジメント機能／サスペンド機能が動作していませんか？

パソコンのパワーマネジメント機能、サスペンド／レジューム機能の設定を解除してくだ
さい。設定方法についてはパソコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

●本商品のLANポートに接続した機器は正しく動作していますか？

本商品前面の10M LEDや100M LED、接続先機器のLINK LEDが点灯しているか確
認してください。点灯していない場合は、本商品のLANポートに接続した機器が正しく動
作していません。次の点を確認してください。

- ・ 接続先の機器（パソコンやハブ、ルータなど）の電源が入っているか
- ・ LANケーブルが正しく接続されているか
- ・ LANポートに接続した機器の設定は正しいか

■本商品のパスワードを忘れた

本商品を工場出荷時の状態に戻してください。パスワードがクリアされます。本商品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本商品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.67)をご覧ください。パスワードを設定したい場合は、このPARTの「本商品のパスワードを変更したい」(P.63)をご覧ください、再設定してください。



本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて無効になり、再度設定する必要があります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように必ず控えをとるか、「PART3 設定ユーティリティについて」の「設定ファイルの保存」(P.53)を行い、設定をパソコンに保存してください。

■ファームウェアの更新に失敗した

本商品を工場出荷時の状態に戻してから、再度、ファームウェアの更新を行ってください。本商品を工場出荷時の状態に戻す方法は、このPARTの「本商品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.67)をご覧ください。



本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて無効になり、再度設定する必要があります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように必ず控えをとるか、「PART3 設定ユーティリティについて」の「設定ファイルの保存」(P.53)を行い、設定をパソコンに保存してください。

■パソコンのネットワーク設定を調べたい

パソコンに設定されているIPアドレスやサブネットマスク、無線LANアダプタのMACアドレスを調べる場合は、次の方法で行ってください。

●Windows XP/2000 の場合

- 1 「スタート」－「すべてのプログラム」(Windows 2000 の場合は「プログラム」)－「アクセサリ」－「コマンドプロンプト」をクリックします。
- 2 キーボードから「ipconfig /all」(/は半角スペースです)と入力して、「Enter」キーを押します。

```
Microsoft Windows XP [Version 5.1.2600]
(C) Copyright 1985-2001 Microsoft Corp.
```

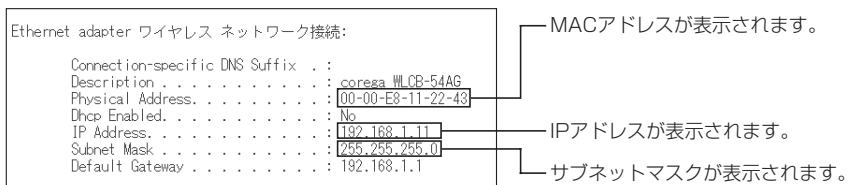
```
C:\Documents and Settings\corega>ipconfig /all
```

「ipconfig /all」と入力します。



画面例の「C:¥Documents and Settings¥corega」の部分は、パソコンの使用環境によって表示が異なります。

3 パソコンのネットワーク設定が表示されるので確認します。



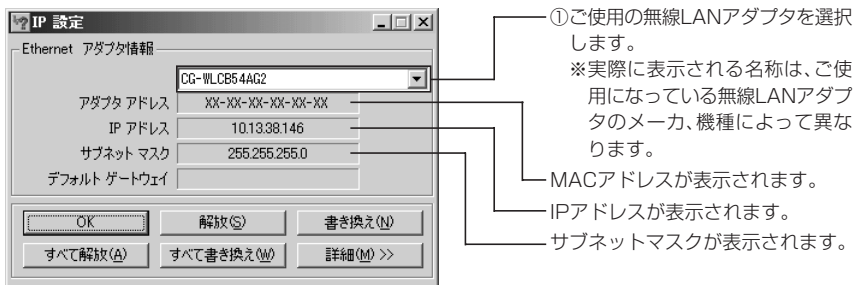
正しく表示されない場合は、「ipconfig /renew」（ / は半角スペースです）と入力して、「Enter」キーを押します。

● Windows Me/98SE の場合

- 1 「スタート」－「ファイル名を指定して実行」をクリックします。
- 2 「名前」の欄に「winipcfg」と入力して、[OK] をクリックします。
- 3 パソコンで使用している無線LANアダプタを選択すると、パソコンのネットワーク設定が表示されます。



ご使用の無線LANアダプタが表示されない場合は、パソコンや無線LANアダプタのメーカーなどにお問い合わせください。

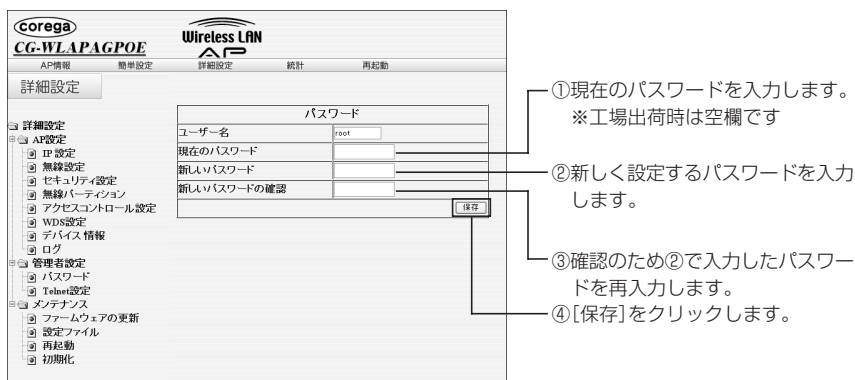


正しく表示されない場合は、[解放] をクリックした後、[すべて書き換え] をクリックしてください。

■本商品のパスワードを変更したい

本商品のパスワードは、次の手順で変更できます。

- 1 本商品の設定ユーティリティを起動し、メニューバーの「詳細設定」をクリックします。画面左のメニューリストが表示されますので、「管理者設定」－「パスワード」をクリックします。
- 2 図のように、新しいパスワードを入力します。パスワードの入力が終了したら、「保存」をクリックします。



パスワードには、15文字までの半角英数字、記号が使用できます。大文字／小文字が区別されますので注意してください。

- 3 本商品を再起動して設定を反映させてください。再度ユーティリティを起動するときに新しく設定したパスワードを入力して「OK」をクリックします。



入力したパスワードは、画面上では「*」で表示されます。

■最新のファームウェアを入手して更新したい

本商品の機能強化のため、予告なくファームウェアのバージョンアップを行うことがあります。最新のファームウェアは弊社ホームページ (<http://corega.jp/>) から入手してください。

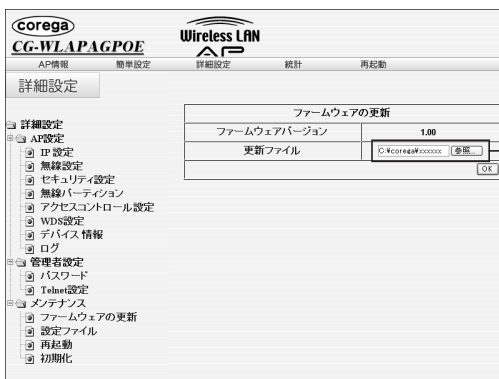


注意

- ・ファームウェアを更新する前に、必ず本商品の設定内容をメモするか、「PART3 設定ユーティリティについて」の「設定ファイルの保存」(P.53)を行い、設定をパソコンに保存してください。
- ・ファームウェアを更新中は、他の操作を行ったり、本商品の電源を切ったりしないでください。ファームウェアの更新に失敗したり、本商品の故障の原因となる場合があります。
- ・ファームウェアを更新する場合は、本商品とパソコンを有線で接続して作業することをおすすめします。

ここでは例として「C:\corega」（Cドライブの中のcoregaフォルダ内）に最新のファームウェアを保存した場合で説明します。

- 1 本商品の設定ユーティリティを起動し、メニューバーの「詳細設定」をクリックします。
- 2 画面左のメニューリストの「メンテナンス」－「ファームウェアの更新」をクリックします。
- 3 更新ファイル欄に直接入力するか、[参照] をクリックして最新のファームウェアの保存先を選択します。



入力欄に保存先を直接入力するか、
[参照] をクリックしてファイルを指定します。



注意

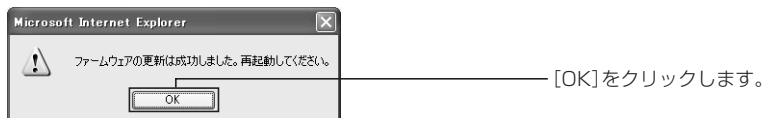
例では「C:\corega\xxxxxx」となっていますが、実際には「xxxxxx」の部分はファームウェアのファイル名になります。

- 4 次のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



- 5 ファームウェアの更新が始まります。

- 6 しばらくすると次のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックした後、画面に表示されている「再起動」をクリックして本商品を再起動します。



以上でファームウェアの更新は終了です。

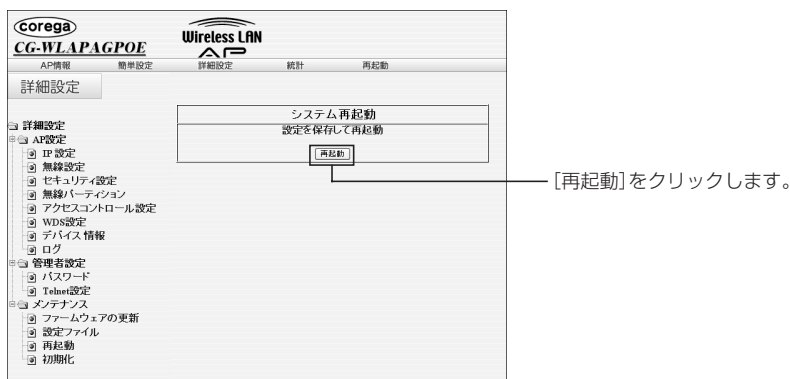


本商品のファームウェアを更新した場合、更新作業終了後に本商品を工場出荷時の状態に戻してください。本商品を工場出荷時の状態に戻すには「本商品を工場出荷時の状態に戻したい」(P.67) をご覧ください。

■本商品を再起動したい

次の手順で本商品を再起動することができます。「ファームウェアの更新」や「工場出荷時の状態に戻す」とは異なりますのでご注意ください。

- 1 本商品の設定ユーティリティを開き、メニューバーの「再起動」をクリックするか、「詳細設定」－「メンテナンス」－「再起動」をクリックします。
- 2 「システム再起動」の「再起動」をクリックします。



- 3 「本商品が再起動する際に、ブラウザの通信が切断されます。よろしいですか？」と表示されたら、[OK] をクリックします。



—— [OK] をクリックします。

- 4 次の画面のメッセージが表示され、本商品が再起動します。



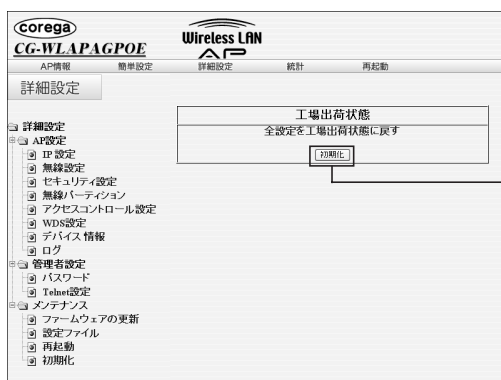
本商品の再起動中は、一時的にネットワークに接続できなくなります。

■本商品を工場出荷時の状態に戻したい

本商品を工場出荷時の状態に戻すと、今まで設定していた情報がすべて無効になり、再度設定する必要があります。重要な設定をしている場合は、設定内容を書き残すなど、後で再設定できるように必ず控えをとるか、「PART3 設定ユーティリティについて」の「設定ファイルの保存」(P.53)を行い、設定をパソコンに保存してください。また、工場出荷時の状態に戻すには次の2つの方法がありますが、どちらの方法をお使いになっても本商品を工場出荷時の状態に戻すことができます。

●設定ユーティリティを使う

- 1 メニューバーの「詳細設定」をクリックし、「メンテナンス」－「再起動」をクリックします。
- 2 「工場出荷状態」の「初期化」をクリックします。



「初期化」をクリックします。

- 2 次の画面が表示されますので、[OK] をクリックします。



[OK]をクリックします。

●Init スイッチを使う

- 1 本商品の電源が入っている状態で、本商品背面の Init スイッチを押します (Init スイッチは堅くて先の細いもので押ししてください)。
- 2 本商品前面の Power LED が消灯したら、スイッチを離します。
- 3 Power LED が点滅後、a LED と g/b LED が点灯し、Power LED も点灯します。

以上で本商品が工場出荷時の状態に戻りました。

■「無線設定」で指定したIEEE802.11aのチャンネルが表示されない／チャンネルが変更された

法改正により新しく追加されたIEEE802.11aで利用できる「52/56/60/64」の4チャンネルは、気象レーダと同じ周波数を使用します。本商品は気象レーダ波を感知した場合、自動的にチャンネルを変更し、干渉する周波数を30分間「無線設定」に表示しないように設定します。この現象が発生した場合でも、本商品の通信機能には問題ありませんので、そのままお使いください。

コレガのホームページの情報を活用する

コレガのホームページでは、お客様からのよくあるお問い合わせ情報やネットワークの一般知識を分かりやすく解説しているページを公開中です。困っていることを解決するヒントになります。

<http://corega.jp/>

それでも解決しなければ、サポート窓口にお問い合わせしてみる

弊社サポートセンタへのお問い合わせ方法は、巻末の「商品に関するご質問は…」をご覧ください。

PART 5

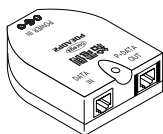
付 録

PoEアダプタを使って接続する

別売のPoEアダプタ（CG-POEADP2）の給電アダプタを使用すれば、コンセントから離れた場所にも本商品を設置することができます。

■PoEアダプタについて

PoEアダプタとは、コレガのネットワーク商品に接続して電源を供給するアダプタです。



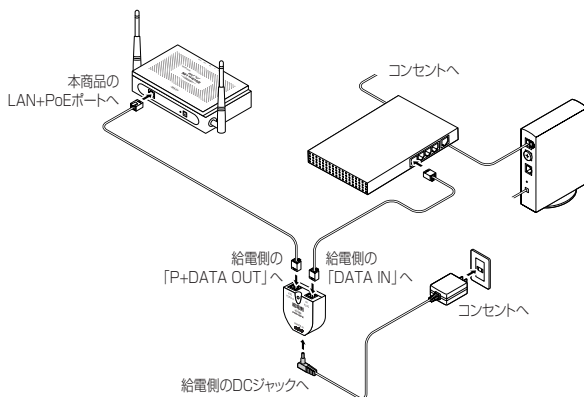
PoEアダプタ（給電アダプタ）



注意 PoEアダプタには、必ずPoEアダプタ専用ACアダプタをご使用ください。誤って別のACアダプタを使用すると、故障または破損する恐れがあります。

■PoEアダプタとの接続例

本商品との接続は次の接続例を参考に行ってください。





- ・PoEアダプタ専用ACアダプタを本商品に接続しないでください。故障または破損する恐れがあります。
- ・PoEアダプタの給電側の「P+DATA OUT」に、ハブやパソコンなどを接続しないでください。故障または破損する恐れがあります。
- ・LANケーブルにはカテゴリ5以上のUTPケーブルをお使いください。また、LANケーブルは弊社製のLANケーブルをおすすめします。
- ・PoEアダプタにはリピータ（スイッチ）の機能はありません。接続するネットワーク機器（ルータやハブなど）から、PoEアダプタを経由した本商品までのLANケーブルの全長が100mを超えないように注意してください。

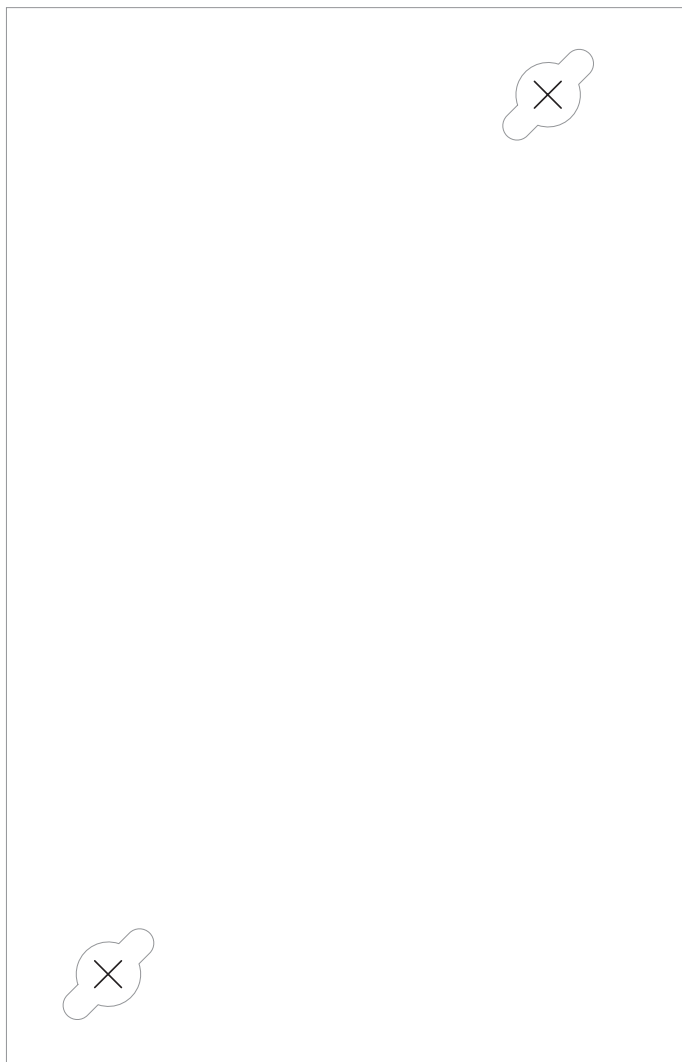
仕様一覧

■有線LAN仕様	
サポート規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)/IEEE802.3(10BASE-T)/IEEE802.3af(Power over Ethernet)
インタフェース	
ポート数	RJ-45×1
規格	100BASE-TX/10BASE-T オートネゴシエーション, Full Duplex/Half Duplex オートネゴシエーション
MDI/MDI-X切換	自動認識 (Auto MDI/MDI-X)
■無線LAN仕様	
サポート規格	
国際規格	IEEE802.11a, IEEE802.11g, IEEE802.11b, IEEE802.11
国内規格	ARIB STD-T66, STD-T71
伝送速度	IEEE802.11a/g: 54/48/36/24/18/12/9/6Mbps, IEEE802.11b: 11/5.5/2/1Mbps
周波数(中心周波数)	IEEE802.11a: 5.180~5.320GHz, IEEE802.11g/b: 2.412~2.472GHz
チャンネル数	IEEE802.11a: 8 (34, 40, 44, 48, 52, 56, 60, 64ch), IEEE802.11g/b: 13 (1~13ch)
伝送方式	直交周波数分割多重変調方式 (OFDM)、直接拡散型スペクトラム拡散方式 (DS-SS)
アクセス方式	CSMA/CA
セキュリティ	ESSID方式 (IEEE802.11: ID (文字列) による識別)、WEP (64/128/152bit)、IEEE802.1X、WPA/WPA2-PSK (パーソナル)、WPA/WPA2-EAP (エンタープライズ)、MACアドレスフィルタリング、無線パーティション
対応モード	アクセスポイント/WDS (LAN間通信/クライアント/リピータ)
アンテナ形式/タイプ	デュアルバンド・ダイポール型アンテナと内蔵デュアルバンド・アンテナ/ダイパシティ
■取得承認	
VCCI Class B、技術基準適合認定	
■電源部	
本体	
最大消費電力	4.739W
ACアダプタ	
定格入力電圧	AC100V (50/60Hz)
定格入力電流	600mA
■環境条件	
動作時温度/湿度	0~40℃/90%以下 (結露なきこと)
保管時温度/湿度	-20~60℃/95%以下 (結露なきこと)
■外形寸法 (本体のみ)	192 (W) × 32 (D) × 120 (H) mm (突起部を含まず)
■質量 (本体のみ)	300g (ACアダプタ、アンテナ、マグネットを含まず)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

壁掛キット取り付け用ネジ穴ガイド

原寸大のネジ穴ガイドです。付属のプラスチックアンカを取り付ける場合に、コピーして切り取ってお使いください。



工場出荷時の設定

システム名	CG-WLAPAGPOE
IPアドレス	192.168.1.230
ユーザ名	root
パスワード	無し
ESSID	corega

チャンネル	6
暗号化	無効
ステルスAP	無効
Super A/G	無効

保証と修理について

■保証について

別紙の「製品保証規定」を必ずお読みになり、本商品を正しくご使用ください。無条件で本商品を保証するというものではありません。正しい使用方法で使用した場合のみ、保証の対象となります。本商品の保証期間については、保証書に記載されている保証期間をご覧ください。

■修理について

故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書をご覧ください、設定や接続が正しく行われているかを確認してください。現象が改善されない場合は、弊社ホームページに掲載されている「修理依頼用紙」をプリントアウトの上必要事項を記入したものと製品保証書および購入日の証明できるもののコピー（レシートなど可）を添付し、商品（添付品一式と共に）をご購入された販売店へお持ちください。修理をご依頼する際は、以下の点にご注意ください。

- ・修理期間中の代替機などは弊社では用意しておりませんので、予めご了承ください。
- ・保証書に販売店の押印がない場合は、保証期間内であっても有償修理になる場合があります。
- ・商品購入日の証明ができない場合、無償修理の対象となりませんのでご注意ください。
- ・修理依頼時の運送中の故障や事故に関しては、弊社はいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。

※弊社へのお持ち込みによる修理は受け付けておりません。

■有償修理について

有償修理の場合は、ご購入の販売店へお持ちください。下記ホームページに有償修理価格が記載されておりますので、ご覧ください。

<http://corega.jp/repair/>

おことわり

- ・本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・改良のため商品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

©2005 株式会社コレガ

coregalは、株式会社コレガの登録商標です。

Windowsは、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2005年12月 初版

■弊社ホームページのご案内

弊社ホームページでは、各種商品の最新情報、最新ファームウェア、よくあるお問い合わせなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをおすすめします。

<http://corega.jp/>

■商品に関するご質問は・・・

商品のご質問はコレガサポートセンタまでお問い合わせください。お問い合わせの際には弊社ホームページ掲載の「お問い合わせ用紙」または下記の必要事項をご記入いただいた書面を用意して、メール、FAX、電話でのいずれかでお問い合わせください。

●お問い合わせ先

【corega サポートセンタ】

Mail サポート:下記 URL からユーザ登録をした後、お問い合わせをしてください。

<http://corega.jp/faq/>

TEL:045-476-6268

FAX:045-476-6294

〈受付時間〉

10:00 ～ 12:00、13:00 ～ 18:00 月～金（祝・祭日を除く）

※サポートセンタへのお問い合わせは日本語に限らせていただきます。

This product is supported by Japanese only.

※電話が混み合っている場合は、MailサポートおよびFAXサポートをご利用ください。

●必要事項

あらかじめ下記の必要事項を控えておいてください。

- ・ 商品名
- ・ シリアル番号（S/N）、リビジョンコード（Rev.）
- ・ お名前、フリガナ
- ・ 連絡先電話番号、FAX 番号
- ・ 購入店
- ・ 購入日付
- ・ お使いのパソコンの機種
- ・ OS
- ・ ネットワーク構成
- ・ お問い合わせ内容（できる限り詳しくお知らせください）